

平成30年12月26日

安曇野市教育委員会

平成30年12月定例会

会 議 議 案

安曇野市教育委員会

議案第 1 号	教育部 各課
平成 30 年 12 月 26 日提出	

タイトル	共催・後援依頼について
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議
要旨	生涯学習課 後援 1 件 文化課 後援 1 件 (詳細 別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第 2 条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第 3 条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第 4 条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第 1 項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事（団体又は行事が、前条第 2 項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。）</p>	

教育部生涯学習課共催・後援台帳(平成30年度12月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	承認	承認日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 29	H 28	H 27	所管課 意見
1016	平成30年12月17日	社会教育担当	安曇野ガールズスカウト みつばちランド	ガールズスカウト 長野県第38団 松井恭子	ガールズスカウト 長野県 第38団	後援	一般の方に安心して参加していただくため	12月17日	平成31年1月27日		月 日	根金公民館 スタジオ1	ガールズスカウトと未就学女児親子が てあそび、ゲーム、工作をし、楽しく 交流する	てあそび、ゲーム、工作、おやつ 参加費 100円	-	-	-	基盤第3 条第2項 により可

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成30年度12月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者 (団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決 理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 29	H 28	H 27	所管 課 意見
87	平成30年 12月5日	文化	新世界『透明 標本』展	信濃毎日新 聞松本本社	松本本社 事業部長 井上英	信濃毎日 新聞社、 信越放 送、(株) 井上	後援	より多くの 方々に周知・ 興味を持って いただくため	12月4日	平成31 年 3月16日 (土)～4 月7日 (日)		月 日	井上アイシ ティ21 3階 ウェルアツプ ホール	『透明標本』の展覧会を行 い、気軽に感じられるサイエ ンスの入り口として、芸術や アート作品として、または哲 学の扉として、『透明標本』 作品を通じて多くの人々の 心に新しい世界を投影して いきたい。	・たんぱく質を酵素により分 解し、肉質を透明に、そして 硬骨を赤紫、軟骨を青色に 染織するという骨格研究の 手法をベースとし、本物の 生物標本でありながら命を よとして身近に感じる造形作品 として『透明標本』を展示する。 ・入場料:一般900円(前売 券:700円)、高校生以下500 円(前売券:400円)、ペアチ ケット(一般2枚/前売券の 販売のみ)1,200円、3歳未 満入場無料、障がい者手帳 の提示で、本人のみ入場無 料、参加者:13,000人(見 込)	-	-	-	基準 第3 条第 2項 によ り可

議案第 1 号の 1	教育部 各課
平成 30 年 12 月 26 日提出	

タイトル	共催・後援依頼について
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議
要旨	文化課 後援 1 件 生涯学習課 後援 1 件 (詳細 別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第 2 条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第 3 条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第 4 条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第 1 項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第 2 項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>	

教育部生涯学習課共催・後援台帳(平成30年度12月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	承認日	承認	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 29	H 28	H 27	所管課意見
1017	14.12.22	社会 教育 担当	早春講演 残間里 江子講演会(公開講 演会)	明治大学校 友会長野県 支部	明治大学 校友会長 野県支部 支部長 山田正治	後援	広く一般に告 知をするため	12月20日	平成31 年2月16 日(土)	月		信毎MEDI A GARDE N	新時代を迎えるにあたり、AIの 導入や働き方改革など社会情 勢が大きく変貌しつつあるな か、自分自身のありようが大切 であると思われ、一般講演の 皆さんと考えるきっかけとし たい。	・残間里江子講演会 「自分らしい人生を歩むコツ」 ・平田静子とトークショー	-	-	-	基盤第3 条第2項 により可

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成30年度12月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者 (団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 27	H 28	H 29	所管 課 意見
90	平成30年 12月21日	文化	「旬の自然観察」連載500回 記念写真展	株式会社 市民タイムス	株式会社 市民タイムス	後援	広く一般に周知し、開催場所である安曇野市民の皆さんにより多く来場していただくため。	12月21日	平成31年 2月25日 (月)～3 月3日 (日)				日 月	市民タイムス 安曇野支社 山光ホール	市民タイムスに連載中のコラム『旬の自然観察』は安曇野・松本平における季節感のある動植物などを、カメラ写真と分かりやすい解説文で紹介するもので、毎週1回の定期連載を始めて今年で9年目となる。来年2月には連載が500回を教えることからこれを記念して、これまでに掲載してきたものを中心に写真と文章を再構成し、安曇野・松本平の四季の特徴的な自然を紹介する写真展を企画するものである。	掲載された500回のコラムの中から話題性の高いもの、生態写真としての完成度の高いものなどを約30点～約40点を展示する。期間中、3月2日にイベント「執筆者と読者の座談会」を開催する。入場料は無料。	-	-	-	基準 第3 条第 2項 により可

報告第1号	教育部 生涯学習課
平成30年12月26日提出	(課長)白井 隆昭 (担当係長)山口 尊礼

タイトル	安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員の委嘱について
報告を要する事項の内容	委員の委嘱
要旨	<p>安曇野放課後子どもプラン運営委員設置要綱第3条の規定により、関係団体等から推薦された別紙の者を「安曇野市放課後子どもプラン運営委員」の補欠委員に委嘱したので報告します。</p> <p>(29年度委嘱者の内、役職交代等による者5名)</p> <p>【安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員会設置要綱抜粋】 (趣旨)</p> <p>第1条 この要綱は、市内の小学校及び児童館施設等を活用し、放課後の子どもたちの安全かつ安心な居場所を確保し、地域の協力を得て心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する安曇野市放課後子ども総合プランに基づく放課後対策事業（以下「事業」という。）の円滑かつ適正な運営方法を検討するため、安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員会（以下「委員会」という。）の設置及び運営について、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(任務)</p> <p>第2条 委員会は、次の事項について検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 事業計画の策定に関すること。 (2) 事業の安全管理に関すること。 (3) 事業の広報活動に関すること。 (4) 事業の人材確保に関すること。 (5) 事業の企画に関すること。 (6) 事業の運営に関すること。 (7) 事業実施後の評価に関すること。 (8) 施設の設置運営に関すること。 (9) 前各号に掲げるもののほか、安曇野市放課後子ども総合プランに関し必要な事項 <p>(組織)</p> <p>第3条 委員会は、委員25人以内で組織し、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学識経験を有する者 (2) 教育関係者 (3) 福祉関係者 (4) 行政関係者 (5) その他教育委員会が必要と認める者 <p>(任期)</p> <p>第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。</p>
説明	<p>○委嘱した者</p> <p>別紙のとおり（新任5人、留任12人）</p> <p>交付日：平成30年12月13日</p> <p>任期：平成31年9月30日まで</p>

平成30年度 放課後子ども総合プラン運営委員名簿

任期：平成29年10月1日～平成31年9月30日

番号	氏名	よみがな	区分	新任・留任	備考
1	白倉 祐美	しらくら ゆみ	学識経験者	新任	安曇野市子ども会育成会連合会副会長
2	戸塚 國彦	とつか くにひこ	学識経験者	留任	安曇野市民生児童委員
3	大林 陽子	おおばやし ようこ	学識経験者	留任	安曇野市民生児童委員
4	坂模 邦章	さかまき くにあき	教育関係者	留任	堀金小学校長
5	長瀬 克彦	ながせ かつひこ	教育関係者	新任	明北小学校長
6	山崎 陽世	やまざき はるよ	教育関係者	留任	放課後子ども教室保護者代表(豊科北小わいわいランド)
7	針間 千恵	はりま ちえ	教育関係者	新任	放課後子ども教室保護者代表(堀金小わいわいランド)
8	三澤 正彦	みさわ まさひこ	教育関係者	留任	社会教育指導員(穂高公民館)
9	山岸 彰	やまぎし あきら	教育関係者	留任	社会教育指導員(三郷公民館)
10	瀧間 弘恵	たきぎく ひろえ	教育関係者	留任	放課後子ども教室コーディネーター(豊科南小わいわいランド)
11	三好 さき子	みよし さきこ	教育関係者	留任	放課後子ども教室コーディネーター(明南小わいわいランド)
12	寺島 美香	てらしま みか	教育関係者	新任	児童クラブ保護者代表(三郷児童クラブ)
13	堀内 瑞枝	ほりうち みずえ	教育関係者	留任	児童クラブ保護者代表(豊科東小児童クラブ)
14	上兼 裕	うえがね ゆう	福祉関係者	留任	社会福祉協議会子育て支援係長
15	堀金 里美	ほりがね さとみ	福祉関係者	新任	児童厚生員(豊科高家児童館)
16	大月 美保	おおつき みほ	福祉関係者	留任	児童厚生員(穂高西部児童館)
17	永野 玲貴	ながの れいき	福祉関係者	留任	児童厚生員(堀金児童館)

■ 新任

■ 留任

報告第2号	教育部 各課
平成30年12月26日提出	

タイトル	後援依頼の教育長専決分の報告について
報告を要する事項の内容	教育長専決に伴う報告
要旨	生涯学習課 4件 文化課 2件 (詳細別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>	

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(平成30年度12月定期会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H29	H28	H27	所管課意見
70	H30.11.20	社会教育担当	第12回あづみ野おなかまキッズ	あづみ野おなかまキッズ 五村 昌代	あづみ野おなかまキッズ	後援	安曇野市内の公立小中学校でチラシ配布し、多くあづみ野おなかまキッズを開催の広報を行ったため	11月19日	平成30年12月9日(日)	○	過去承認	○	11月22日	堀金公民館調理実習棟	主に子どもを対象に食事をこまめに、大人も高齢者も立ち寄りやすいように、みんなで楽しくおしゃべりしながら、子どもが安心して遊んだり学習したりできるように、居場所をつくることを目的とする。	参加費:大人300円、子ども(高校生まで)無料 メニュー:シチュー、あったかい野菜サラダ、デザート	○	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号より可
71	H30.11.19	スポーツ推進担当	第5回信州安曇野ハーフマラソン	信州安曇野ハーフマラソン実行委員会 実行委員長 高橋 秀生	信州安曇野ハーフマラソン実行委員会	後援	広く市民の方に周知し、多くの方に大会に参加していただくため。	11月19日	平成31年(2019年)6月2日(日)	○	過去承認	○	11月22日	豊利南郡総合公園(スタート・フィニッシュ会場)	安曇野の自然や人の魅力を全国に発信するため、第5回信州安曇野ハーフマラソンを開催する。スポーツを通じて交流人口の拡大と地域の活性化を目的とする。	・ハーフマラソン(21.0975km)定員:5,000人(うち市民枠500人) 参加資格:大会当日18歳以上 参加料:1人5,500円 ・ファミリーラン(2km)定員:300組600人 参加資格:大会当日18歳以上の保護者(1人)と小学生(1~2人)の2~3人組 参加料1組3,000円(小学生2人の場合は4,000円) 平成27~30年度(第1~4回)後援あり。	○	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号より可
72	H30.11.27	スポーツ推進担当	第25回HoriganeCupフットサル大会	堀金サッカースポーツ少年団 代表監督 鎌田 昭彦	堀金サッカースポーツ少年団	後援	安曇野市のサッカースポーツ少年団のスキルアップと他団体との交流に資するため。	11月26日	平成30年12月9日(日)・16日(日)・23日(日)・24日(月)・平成31年1月6日(日)・20日(日)	○	過去承認	○	11月28日	堀金中学校体育館、堀金多目的屋内運動場	ジュニア年代のサッカースキル向上	競技方法:予選リーグ戦(U-11)及びフットボール(U-10)、決勝トーナメント戦 参加料:U-11(5年生以下)1チーム4,000円、U-10(4年生以下)1チーム1,000円	○	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号より可
73	H30.12.6	スポーツ推進担当	第25回ジュニア安曇野卓球選手権大会(中学生)	安曇野卓球連盟 会長 西村 義夫	安曇野卓球連盟	後援	中樞地区の生徒と卓球を通じて、情報交換により教養を深めるため。	12月1日	平成31年1月20日(日)	○	過去承認	○	12月7日	種彦総合体育館	卓球競技を通じ、各地域との交流、融和をはかり、且つ卓球の普及拡大、卓球技術の向上を目的とする。	競技種目:中学校1学年男子の部・女子の部、中学校全学年(1~3年)男子の部・女子の部 競技方法:トーナメント方式 参加料:1人600円	○	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号より可

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成30年度12月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者 (団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 29	H 28	H 27	所管 課 意見
85	平成30年11月26日	文化	モーツァルト交響曲全曲演奏会<特別演奏会>	モーツァルト交響曲全曲演奏会実行委員会 実行委員長 牛山 勝男	モーツァルト交響曲全曲演奏会実行委員会	後援	松本市だけでなく、周辺地域の多くの人に楽しんでいただきたい。	11月22日	平成31年5月5日(日・祝)	○	過去承認		11月27日	松本市音楽文化ホール(主ホール)	地域での演奏機会を得るため、松本市、塩尻市、安曇野市および近隣の演奏者を中心とした演奏会を開く。	モーツァルト生誕250周年にあたる平成12年に横島勝人氏の指揮でモーツァルトの曲を演奏して好評を博したので、それを出発点として演奏会を継続開催。平成20年3月から平成30年10月まで年2～3回の演奏会を開催した。演奏会は完結したがその締めくくりとして今回の特別演奏会を開催する。 演目:クラリネット協奏曲イ長調KV622、レクイエム二短調KV626 ・入場料1人2,000円(入場予定者数:240名) ・参加料1人5,000円(参加予定者数:25名)*合唱参加者は30名(参加料は無料)	○	-	-	基準 第4 条第 2号 により可
86	平成30年12月4日	文化	平成30年度安曇野市中学高等学校美術部展-10周年記念展-	安曇野市豊科近代美術館 館長 荒梁重徳	安曇野市豊科近代美術館・公益財団法人安曇野文化財団	後援	市内の中学校・高校(生徒)の活動本、より多くの市民に広報・周知するため。	12月4日	平成31年2月5日(火)～2月24日(日)	○	過去承認		12月10日	安曇野市豊科近代美術館2階展示室及び新館大展示室	中学・高校美術部の活動成果を発表する場として、また、他校生・市民との交流の場として、市内の中学・高校美術部による合同作品展を行う。	安曇野市の中学・高校の美術部員による作品を展示。他に顧問の作品や参加生徒全員による共同制作作品、市外中高等学校美術部、養護学校高等部の賛助出品作品を展示する。	○	○	○	基準 第4 条第 2号 により可

報告第3号

平成30年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

<学校教育課>

学校教育係

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
中学生海外ホームステイ 交流派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 12/9 (2回目) ・英会話レッスン 12/16 (4回目) 	<ul style="list-style-type: none"> ・英会話レッスン 1/26 (5回目)
健診データ提供 (中学3年生分) ※同意した生徒分のみ	<p>株式会社 学校健診情報センターへの情報提供 データ取込み（スキヤニング）作業立ち合い (11/26・11/29)</p> <p>※中学3年生の9年間に及ぶ健診データを提供し、セン ターが保有・蓄積するデータに基づくレポートを受けて います。(3年契約の2年目)</p>	
学校安全総合支援事業	<p>アドバイザー学校訪問 (防災訓練の打ち合わせ、職員・児童生徒への講演、 訓練参観と講評など、学校要望による取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穂高西小学校 12/5 廣内大助 先生 	
有害鳥獣対応 (イノシシ)	<p>12/12(水) 下校分～12/14(金) 下校分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有明駅周辺 (穂高北小・穂高西中学区) ・明科七貴地区 (明南小・明科中学区) ・礪山美術館・穂高会館周辺 (穂高南小・穂高東中学区) <p>※オクレンジャーによる保護者・学校関係者への周知</p>	

平成 30 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

社会教育総務費事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
社会教育指導員	12月4日（火）第2回社会教育指導員連絡会 ・安曇野市人権教育・啓発推進計画改定について ・人権尊重作文について ・来年度事業の期日と講師予定 他	1月8日（火）第3回連絡会 ・市人権教育・啓発推進計画校正

生涯学習推進費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
学校開放講座	12月4日（火） 穂高商業高校「Wordで作る年賀状（入門）」 12月22日（土） 豊科高校「本格的ハードカバー製本」 12月14日（金）・15日（土） 穂高商業高校「はじめてのソロバン」 ～12月 南安曇農業高校「青空と緑の中で」（園芸、食品加工等）	1月19日（土） 穂高南小学校「めざせ！けん玉名人」

中央公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
公民館長会	12月10日（月）第9回公民館長会 ・第13回安曇市公民館大会について ・安曇野市公民館条例の改正（案）について ・平成31年度公民館長会の開催日程について	1月15日（月）第10回公民館長会
公民館担当者会議	12月18日（火）第6回担当者会議 ・安曇野市公民館条例の改正（案）について ・使用料・貸館等について ・生涯学習情報～Link～について	1月 第7回担当者会議
公民館報	12月5日（水）第5回館報校正会議 ・館報第46号校正 12月14日（金）第5回館報企画会議 ・館報第47号の内容について	1月9日（水）館報第46号発行

作成者：社会教育担当 2018/12/17

平成30年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

青少年健全育成費事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
子ども会育成会支援	活性化補助金確定・支払事務	3月7日（木）子ども会育成会連合会 常任委員会
青少年センター	12月22日（土）街頭巡回	1月 青少年センターだより13号発行 1月27日（日） 講演会「(仮)スマ ホ・ケータイを安 心・安全に使うた め」 第4回運営委員会 3月 街頭巡回

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
放課後子ども総合プラン運営委員会	12月13日（木）第1回運営委員会	3月 第2回運営委員会
放課後子ども教室	10 小学校で実施中 12月18日（火）スタッフ研修会	

児童館運営費

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
児童館・放課後児童クラブ	12月～1月 新年度児童クラブ入所審査・調整 12月 児童クラブに関するアンケート実施	1月～2月 アンケート集計・分析 2月 入所決定通知書発送 3月 入所説明会

成人式実施事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
成人式		1月13日（日）成人式

平成 30 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当（豊科公民館）

豊科公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
第 14 回豊科地域文化祭に向けた取り組み ・会期：10/31(水)～11/18(日)	11月17日(土) 短歌大会 於：豊科公民館 14人参加 11月18日(日) 俳句大会 於：豊科公民館 投句者：大人40名、小中高生：1,017名 12月6日(木) 菊花展表彰式 於：豊科公民館 文化祭菊花展の審査会の結果、優秀賞ほか上位受賞者への表彰式を行った。 12人参加	12月中 文化祭反省会 芸文協と共催事業として行った今年度の文化祭の反省会
出会い・ふれあい・生きがいセミナー	全4回の講座。 11月28(水) 第2回 「弥次さん喜多さん北の安曇野へ」 講師：丸山英二氏（安曇野十返舎一九に親しむ会会長） 聴講：12名 12月4(火) 第3回 「モンキーダッグのペロとわたし」 講師：丸山茂氏（丸山農園経営） 聴講：15名	
第2回地区公民館対抗球技大会	12月5日(水) スポーツ推進委員との打合せ 今年度の球技大会の進め方について、打合せを行った。 12月12日(水) 体育部長会議 球技大会に関わる地区公民館体育部長会議	

*会議・講座等の会場は、いずれも豊科公民館

平成 30 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課スポーツ推進担当

社会体育総務費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
スポーツ推進委員会	11月26日(月) 第2回 スポーツ推進委員会全体会議	2月 第4回 スポーツ推進審議会（予定）
スポーツ推進審議会	10月22日(月) 第1回 スポーツ推進審議会 審議会へ諮問書	
	11月9日(金) 第2回 スポーツ推進審議会	
	11月28日(水) 第3回 スポーツ推進審議会 体育施設等の使用料の改正について答申	

スポーツ振興事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
スポーツ教室等	12月15日(土) 安曇野わくわくスポーツ教室 パラスポーツ教室の開催 (堀金総合体育館)	平成31年1月14日(月) 有森裕子ランニング教室 (穂高総合体育館)
市民スポーツ祭	12月2日(日) 柔道競技会 (豊科武道館柔道場) 12月2日(日) 9人制女子バレーボール競技会 (堀金総合体育館他2会場) 12月15日(土) フットサル競技会 (穂高総合体育館) ※17種目競技終了	1月中旬 市民スポーツ祭実行委員会(予定)

社会体育施設管理費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
明科体育館非構造部材耐震化 工事	11月29日 工事しゅん工 工事内容 アリーナ天井吸音材撤去 照明LED化 吊り下げ式バスケットゴール撤去 他 総事業費 52,380千円 12月1日 体育館一般開放開始	

平成30年12月26日開催

安曇野市教育委員会12月定例会当日配布資料

5、6年生保護者向けアンケート

放課後児童クラブの利用に関するアンケート調査

日頃より放課後児童クラブの運営にご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

安曇野市では、現在小学校1年生から4年生の児童を対象に放課後児童クラブの受け入れを行っていますが、小学校6年生までの受け入れ拡大や、入所要件の緩和等について希望が寄せられております。

そこで、本アンケートを実施させていただくことになりました。

このアンケートは、安曇野市のこれからの児童館・児童クラブ整備のための大切な資料となります。

回答していただいた内容（利用のご希望など）で、実際の利用の可否を確認・決定するものではありません。今のお考えで回答をしていただいても結構です。

特に6年生の保護者の皆さんには、卒業を控えた時期となりますが、学年ごとの希望数を把握したいため、ご協力をお願いする次第です。

ご多用のところお手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答をお願い申し上げます。

保護者の方のお考えはもちろんですが、お子さんともご相談の上、回答いただければ幸いです。

平成30年12月 安曇野市

ご記入にあたってのお願い

- 1 回答は、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。
 - 2 設問によって回答していただく方が限られる場合があるため、注意書きに従って記入してください。
 - 3 兄弟、姉妹がいる場合はお1人につき1枚ご記入をお願いします。
 - 4 調査票は平成31年1月10日（木）までに担任の先生へ提出してください。
- ◆不明な点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

安曇野市 教育部
生涯学習課 社会教育担当
課長：白井 隆昭
担当：山口 尊礼、小穴 哲丸

30 生第 2205 号
平成 30 年 12 月 20 日

小学校長 様

安曇野市教育委員会
生涯学習課長 白井 隆昭

放課後児童クラブの利用に関する余裕教室の調査について（依頼）

日頃から放課後児童クラブの運営にご理解、ご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて安曇野市の放課後児童クラブは、現在小学校1年生から4年生の児童を対象にしておりますが、6年生までの受け入れや拡大や、入所要件の緩和等について希望が寄せられています。

ご承知のように、来年度から実施される「新・放課後子ども総合プラン」では、放課後児童クラブ及び放課後子供教室の実施に当たって、学校教育に支障が生じない限り、余裕教室や放課後等に一時的に使われていない特別教室等の徹底的な活用を促進するものとされています。

そこで、児童が安全・安心に放課後を過ごせる居場所の必要性が高まっている昨今、児童クラブでは子供を見守るスタッフの確保とともに、開所場所を用意し、遠くない将来に6年生までの受け入れについて進めていくことが求められています。

つきましては、既に余裕教室を利用させていただいている学校もありますが、今回の保護者向けのアンケート調査に加え、まずは開所場所の確保ができないか、今一度各小学校の教室の利用状況等について教えていただければと思います。

いざ、学校を利用させていただくとすると、セキュリティやトイレなどの課題も出てこようかと思いますが、ご相談の上対応させていただきますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

安曇野市 教育委員会 生涯学習課 課長：白井 隆昭 担当：山口 尊礼 小穴 哲丸 電話：71-2466 FAX：71-2338
--

小学校の余裕教室に係る調査

1. 小学校名等を記入してください。

()小学校 ご記入者の職、氏名 ()

2. 余裕教室(児童クラブ室として使用可能な部屋)はありますか。

1 ある 2 ない 3 共有して使用可能な部屋ならある

3. 今後3年以内に余裕教室ができる可能性はありますか。

1 ある 2 ない 3 共有して使用可能な部屋ならある

4. 使用可能な部屋がある場合どのような部屋か教えてください

※複数ある場合は可能な限りご記入ください。

5. 課題点等あればご記入ください。

以上ご協力ありがとうございました。

子育て支援に関するアンケート調査（就学児童）

【調査の趣旨とご協力をお願い】

市民の皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、安曇野市では、『安曇野市子ども・子育て支援事業計画（平成27年～31年）』を策定し、子育て支援施策を推進しております。

このたび、この計画の期間満了に伴い、『第2次安曇野市子ども・子育て支援事業計画』を策定することとなり、計画の策定にあたり、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の量の見込みの算出や質の状況を把握するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などに関する調査を実施することといたしました。

この調査は、市内にお住まいで小学1年～4年生のお子さんのいらっしゃるご家庭の中から無作為に選び、そのご家庭に調査票を送らせていただきました。

調査票のページ数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、皆様には調査の趣旨をご理解いただき、最後までのご回答にご協力をお願いいたします。

平成30年12月

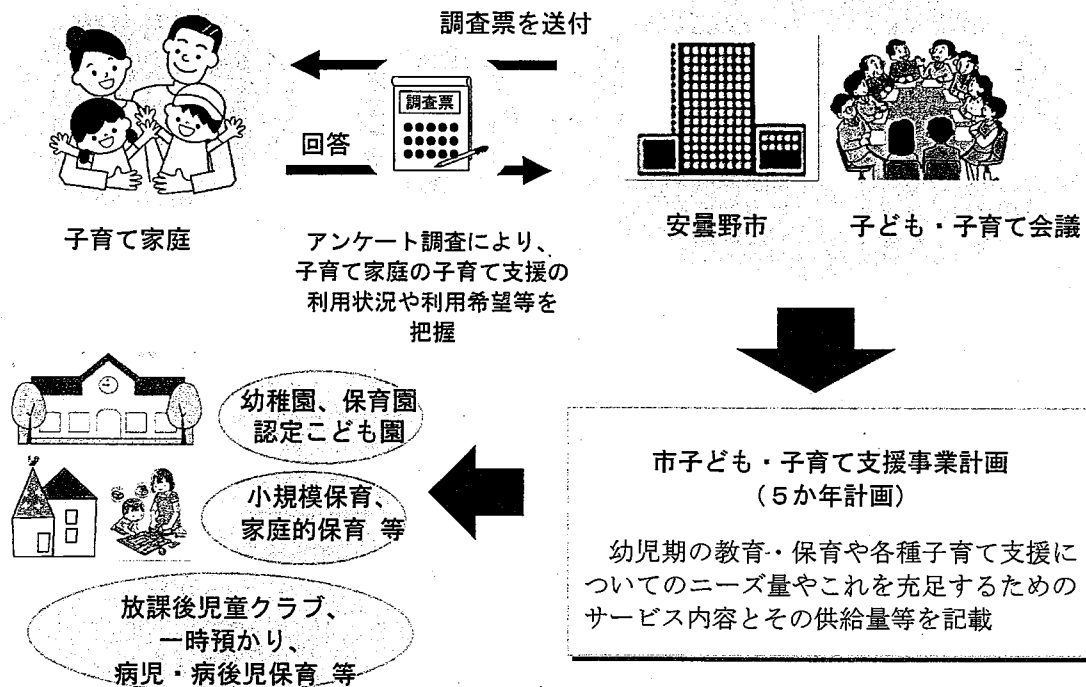
安曇野市

- ご回答は、できるかぎり宛名のお子さんの保護者をお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
 - 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようお願いいたします。
 - 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
 - ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、
12月28日（金）までにご返送ください。（切手は不要です。）
 - 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
- 【お問い合わせ】 安曇野市役所 福祉部 子ども支援課 児童係
電 話： 0263-71-2255（直通） F A X： 0263-72-2065

※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかげがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
 地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいたご回答は、地域の子育て支援の充実に生かされます。
 ぜひご回答いただきますよう、お願いいたします。



宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 22 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず「18時まで」のように24時間制でご記入ください。

【宛名のお子さんが小学4年生の場合は問23へお進みください。】

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（音楽教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館 ※1	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週（ ）日くらい
6. 放課後児童クラブ ※3	週（ ）日くらい→下校時から（ ）時（ ）分まで
7. ファミリー・サポート・センターの援助	週（ ）日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、毎週水曜日の放課後に小学校でスポーツ・文化芸術活動などに取り組む活動で、保護者の就労の有無に関わらず、登録制により利用できます。

※3 「放課後児童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 23 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず「18時まで」のように24時間制でご記入ください。

※ 先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（音楽教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館 ※	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室・	週（ ）日くらい
6. 放課後児童クラブ	週（ ）日くらい→下校時から（ ）時（ ）分まで
7. ファミリー・サポート・センターの援助	週（ ）日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6」に回答

平成 30 年度事業進捗状況報告 (懸案事項等)

〈文化課〉

文化振興係

美術館博物館連携事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
安曇野市美術館博物館 連携事業	美術館博物館年間予定表の作成 (5月1日発行・配布) 小中学生を同伴した保護者の入館料を無料とするパスポートの発行 (全児童・生徒へ配布) 10月中の利用者数 10人 11月中の利用者数 2人	
	「わたしはどこにいるの？」展 (参加施設の複製品展示) 会期 11月15日(木)～11月29日(木) 穂高西中 会期 11月29日(木)～12月6日(木) 穂高南小	江戸川区役所への巡回を検討中
	ミュージアムサポーター養成講座 内容：イベント補助・資料調査など 高橋節郎記念美術館資料調査 11月15日(木)5人、11月20日(火)1人、11月30日(金)3人参加 シンビズム2展 開会式1人・ワークショップ2人参加 学校ミュージアム 12月6日(木) 1人参加	次回、高橋節郎記念美術館資料調査 12月14日(金)予定
	意見交換会 (信州大学人文学部博物館実習履修生) 学生12人、教授1人、美術館学芸員等7人 計20人 期日 12月2日(日) 会場 豊科近代美術館	
	学校ミュージアム 11月29日(木) 穂高西中 多目的ホール 生徒数195人 12月6日(木) 穂高南小 講堂 児童数593人 参加施設 豊科近代美術館・田淵行男記念館・高橋節郎記念美術館・天蚕センター・礪山美術館・絵本美術館森のおうち・安曇野ジャンセン美術館・安曇野山岳美術館 丸山晚霞記念館 (東御市 12月6日のみ)	
	出前展覧会 1月16日(水)～1月31日(木) 会場 安曇野赤十字病院	1月25日(金) 作品解説・ワークショップ

豊科近代美術館管理運営事業・田淵行男記念館管理運営事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
自然を見つめた田淵行男展 主催 県立歴史館 共催 安曇野市 安曇野市教育委員会	概要：長野県立歴史館において田淵行男記念館の資料等を活用して展覧会を実施。民俗学的な視点から構成。 会期 12月15日(土)～2月17日(日) 会場 長野県立歴史館(千曲市) 事業 対談「田淵行男と人づくり 安曇野の環境保全」 日時 1月19日(土)午後1時30分～ 会場 穂高交流学习センターみらい	

文化団体補助事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
「安曇野文化」刊行	11月30日(金) 第29号刊行	

文化振興総務費

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
ちくに生きものみらい 基金充当事業	11月28日(水) 豊科北小養護学級【児童22人、引率5人】 南安曇農業高校利用	
本庁舎4階の美術品展示	穂苅三寿雄写真展 会期 12月4日(火)～2月28日(木)	

高橋節郎記念美術館教育普及事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
第7回そば猪口アート公募展巡回展	① 会期 11月17日(土)～1月20日(日) 会場 瀬戸市新世紀工芸館 ② 会期 1月28日(月)～2月28日(木) 会場 平成記念美術館ギャラリー(世田谷区)	巡回調整中 白鷹町文化交流センターあゆむ 3月
高橋貞夫展	会期 11月6日(火)～16日(金) 会場 高橋節郎記念美術館ギャラリー 会期中の来場者数 740人	
第14回北穂高芸術展 主催 実行委員会	会期 11月10日(土)～11月25日(日) 会期中の来場者数 424人	
改組新第5回日展工芸美術長野県入選者展 主催 日展工芸美術長野県入選者展実行委員会	会期 12月4日(火)～2月24日(日) 組織 本年度の日展 工芸美術の部に入選した長野県在住の作家と実行委員会を組織し実施。	

博物館係

郷土博物館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み
新市立博物館準備 室出前展示(コンパクト展示)	「講～地域のきずな～」 会期:11月2日(金)～12月20日(木) 会場:三郷公民館	
	「〈私たちの暮らしから環境を考える〉究極のリサイクルだった～厠の利用」 会期:11月27日(火)～12月18日(火) 会場:明科中学校	
講座等	押絵の干支をつくってみよう 期日:12月9日(日) 会場:豊科郷土博物館	
職員派遣その他	環境省第5次レッドリスト作成調査への参加 期間:～3月15日(金) 内容:平成29年度及び平成30年度の絶滅のおそれのある維管束植物の生育状況等に関する現地調査。	

郷土資料館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
穂高郷土資料館	縄文土器の展示(県宝指定記念) 会期:11月27日(火)～12月27日(木)	
	北アルプス山麓で発掘された縄文土器や土偶のほか、農具や漁具、養蚕資料など民具を展示(常設展示を見やすくわかりやすい展示に整理し、考古資料等、みどころとなる資料を解説等で強調)。隣接する「鐘の鳴る丘集会所」の関連資料も展示。	
穂高鐘の鳴る丘集会所	郷土の歴史や文化に係る学習や青少年の健全育成に関する事業を行う市民等の利用に供する。	

貞享義民記念館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
企画展示	「みんなで人権を考えよう展」 会期:12月4日(火)～12月27日(木) 場所:貞享義民記念館企画展示室	「木版画とタイルアートの世界」 会期:1月13日(日)～1月27日(日) 場所:貞享義民記念館企画展示室

		「瀧澤伸介絵画展」 会期:1月29日(火)～2月24日(日) 場所:貞享義民記念館企画展示室
--	--	--

文書館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
企画展示	開館記念展示企画「明治150年 松沢求策と国会開設運動」 会期:10月1日(月)～12月28日(金) 場所:文書館・堀金支所	
	「常念校長・佐藤嘉市と学校登山」 会期:10月1日(月)～12月28日(金) 場所:堀金支所	
講座等	講演会「文書が映す安曇野の文化～安曇野市文書館への期待～」(長野県短大准教授 瀬畑源氏)、「人物顕彰と文書館」(講師:松本市文書館特別専門員 小松芳郎氏) 期日:12月2日(日) 場所:堀金公民館第1会議室	
重要文書等収集・整理	重要文書等のシステム登録作業 公開・非公開の選別作業 地域資料利用許諾に向けた調整	

文化財保護係

文化財保護事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み
文化財 補助事業事務	・無形民俗文化財の保存伝承関係、文化財維持管理関係、有形文化財の修理関係等への補助事業申請の受付事務	有形文化財保存修理についての打合せ(スケジュール確認と今後の事務等)
「安曇平のお船祭り」調査	・平成30年度のお船祭り調査 秋の例大祭まとめと、調査報告書の段組み等の検討	委員会開催と原稿執筆
出前講座	「よみがえる安曇野」上映会 ・12月7日(金)午後7時30分～午後8時45分 小田多井地区公民館 ・12月20日(木)午前10時～11時 北村地区公民館	申し込みにより随時対応
重文:曾根原家住宅 保存修理事業	・南・東側庇部分板屋根葺き替え→終了後足場の撤去 ・土間たたきの補修 犬走たたき補修 ・その他外構補修工事(排水施設他)	修理事業を継続

東京文化財研究所 研修会への参加	・12月14日(金)東京文化財研究所 無形民俗文化財研究協議会(無形民俗文化財の保存継承に ついての課題・・・事例発表 基調講演)	
文化財保護へ向け た啓発活動	・広報への文化財コラムの掲載 ・いわれの地標柱修繕事業8ヶ所	3月竣工

埋蔵文化財発掘調査事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み
遺跡内での開発に 対しての協議及び 工事立会の実施	・一般開発・公共事業に伴う現地協議及び工事立会い	
遺跡内での開発に 先立つ試掘調査	12月3日(月)等々力町巾上巾下遺跡	随時対応
遺跡内での開発に 先立つ小発掘調査	宅地造成等浸透柵部分他(柏原遺跡他)	
法 第93・94条関 係の事務	・周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発が行われる際の 届出・通知受付事務	随時対応
平成31年度以降 公共事業協議	・平成31年度以降に埋蔵文化財包蔵地内で計画されてい る公共事業を把握し、必要に応じ、試掘調査計画、発掘調 査対応等を担当部署と協議する。明科遺跡群他	継続
埋蔵文化財 報告書作成作業	・『ほうろく屋敷遺跡 発掘調査報告書』 『潮神明宮前 遺跡 発掘調査報告書』刊行へ向けての作業。 遺物実測、図面整理、原稿執筆他	継続
明科廃寺出土遺物 整理作業	・文化財資料センターで、6月上旬に終了した明科廃寺発 掘調査で出土した遺物の整理作業を行う。 ・12月5日(水) 古代寺院及び瓦の研究者による視察 対応	分類作業他

交流学習センター事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み
交流学習センター等事業	<p>○親子プログラミング教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日：12月15日(土)・16日(日) ・場所：豊科交流学習センター「きぼう」学習室ほか <p>○ホリデーコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日：12月22日(土) ・場所：穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール ・今年度オーディション選出者によるコンサート <p>○松本山雅FC写真展 ～今シーズンを振り返って～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：穂高交流学習センター「みらい」展示ギャラリー ・期間：12月20日(木)～1月6日(日) 	

図書館事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み
図書館事業		<p>○「本のお年玉」</p> <p>普段手に取らないジャンルの資料を、対象年齢ごとに梱包して貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間：1月5日(土)～無くなり次第終了 ・場所：市内図書館 ・配布数：中央館 100セット 豊科館 50セット 三郷、堀金、明科館 各30セット

報告第4号	教育部 学校教育課
平成30年12月26日提出	学校教育課長 平林 洋一 教育指導室 教育指導員 塩野 治幸

タイトル	安曇野市学力・体力向上4カ年計画のまとめ
報告を要する事項の内容	4カ年計画学力関係反省アンケートの結果
要旨	<p>教職員アンケートの結果を「4カ年計画のまとめ」として集約した。 「『主体的に学び合う児童生徒の育成』を目指した授業改善は進んでいるか…」と題した別添のように</p> <p>①授業改善への意識は高い ②「ねらい（めあて）の明確化」「対話的な学びの取組」は良好 ③「意欲・粘り強さ・自主性を育てること」「家庭学習の取組」は変わらぬ課題の結果を得た。</p>
説明	<p>学校教育課教育指導室では、安曇野市校長会と連携し学力向上推進委員会を組織してきた。委員会では、教員の授業改善への意欲を喚起し、日々の実践へと結びつけるため、授業改善のための具体的な着眼点を平成26年度末に4カ年計画として示し、推進してきた。全国学力・学習状況調査の結果を4カ年計画の評価指標の一つとし、児童生徒の状況を追跡し4カ年計画の定着の様子、その成果や問題点に手ごたえを感じつつ学力向上推進委員会報告書としてまとめてきた。本年度は計画の最終年度を迎え、学力に関する教職員アンケートを実施し、その成果と課題を振り返った。</p> <p>アンケートの自由記述欄では、4カ年計画の意義や各自の学力観、授業改善への前向きな取組や工夫、悩みも率直に語られた。一方、周知を徹底することの難しさも改めて浮き彫りにされた。</p>

目 次

	ページ
1 安曇野市学力・体力向上4カ年計画のまとめ _____	1
はじめに	↓
(1) アンケートの設問とその内容	↓
(2) アンケートの集計グラフ _____	2
① 設問別回答の割合 全体集計グラフ	↓
② 設問別回答の割合 小学校グラフ	↓
③ 設問別回答の割合 中学校グラフ _____	3
(3) 考察	↓
まとめ	4
2 資料 _____	5
(1) 経験年数別グラフ	↓
(2) 地域別グラフ _____	6
(3) アンケートの全記述意見] _____	7
① 4カ年計画について	↓
(a) 計画の成果について	↓
(b) 計画の不認知、計画の周知について	↓
(c) 日々の授業工夫・改善について _____	8
(d) 学級経営・学校経営の重要さ	↓
(e) 機器の導入希望 _____	9
(f) 計画についての疑問・要望	↓
(g) その他	↓
② 学力向上について _____	9
(a) 4カ年計画の意義について	↓
(b) 各校の研究の方向について _____	10
(c) 学力観について	↓
(d) 日々の授業の工夫について _____	11
(e) 日々の授業の悩みについて _____	12
(f) 家庭学習について	↓
(g) 機器・設備の充実について	↓
(h) 保護者とのかかわりについて _____	13
(i) 校内・他校・他県に学ぶ	↓
(j) 時間の確保や働き方の改革にかかわって	↓
おわりに	14

1 安曇野市学力・体力向上4カ年計画のまとめ

はじめに

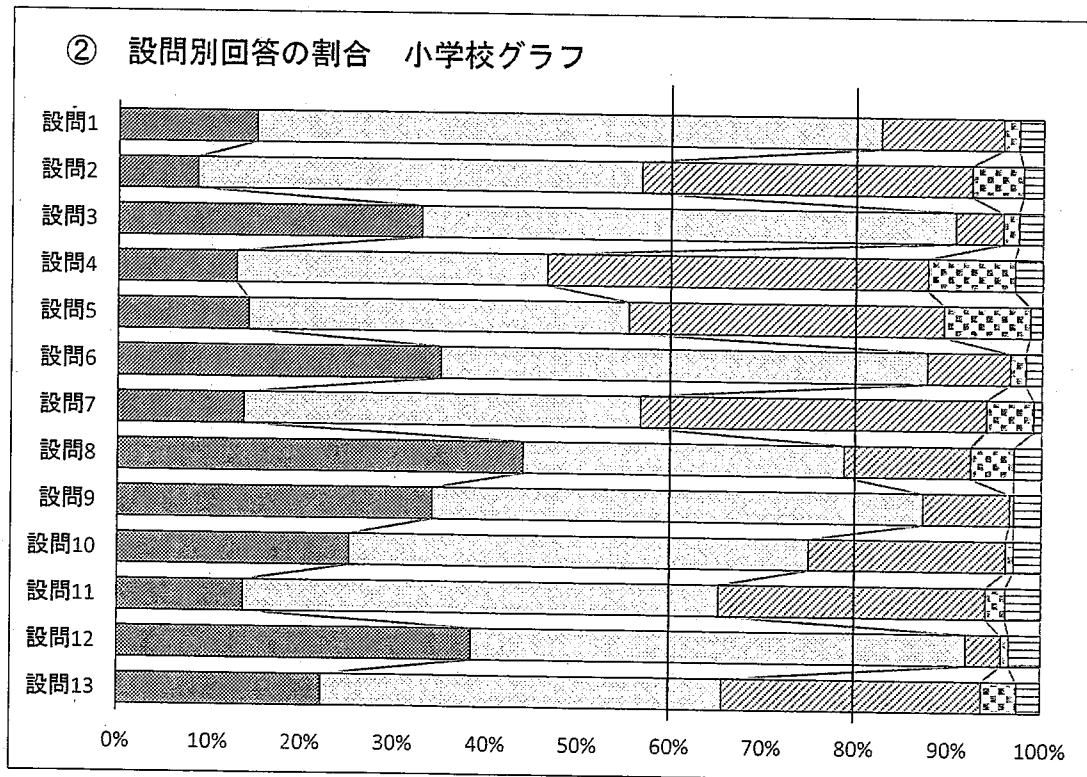
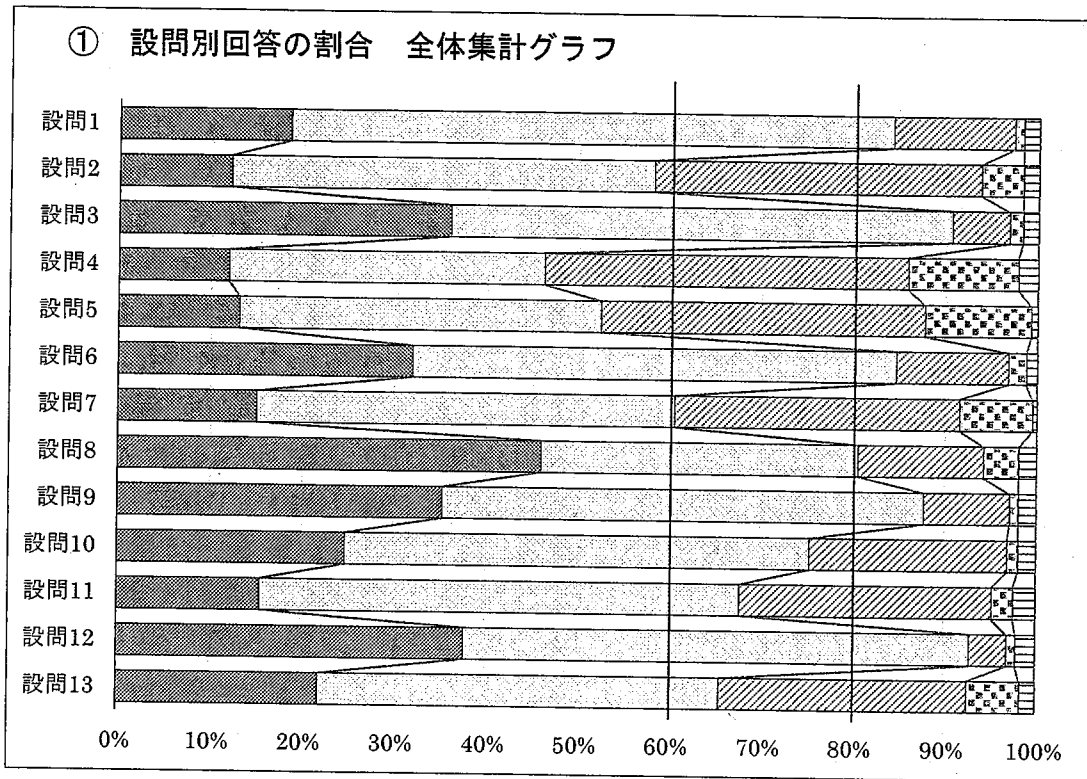
学力向上推進委員会では、文部科学省や県教育委員会の動向を掴みながら全国学力・学習状況調査の結果の分析・考察を通して児童生徒の学力向上につながる手立てを見付けようとしてきました。そのような活動の中から、今日求められる学力や授業の在り方と安曇野市の小・中学校の共通する課題と学校を支える側の課題とを重ね合わせ、H26年度末「安曇野市学力・体力4カ年計画」が生まれました。H27年度来、「全国学力調査結果」や「児童生徒質問紙回答状況」の分析・考察を4カ年計画の意義や定着進捗の評価とつなげて、各年度ごとに4カ年計画の方向を確認し、重点のかけ方を検討して次年度につなげるというPDCAサイクルを大切にしてきました。

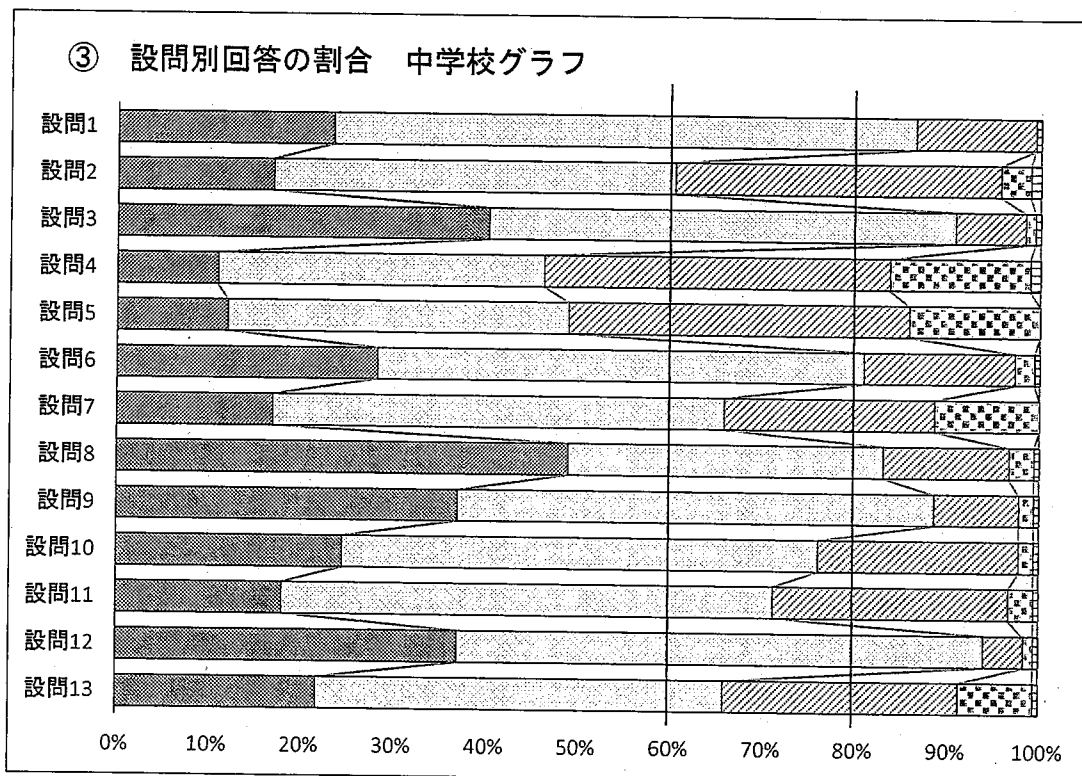
4カ年計画の最終年度に当たる本年度は、各校の先生方へのアンケートの回答結果から、本計画を振り返ることとします。

(1) アンケートの設問とその内容

設問	内容
1	「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」のサイクルを意識して単元展開や授業の計画を立てている。
2	「示す」「仕組む」「振り返る」のキーワードを意識している。
3	指導主事の助言や支援を、授業改善につなげようとしている。
4	「家庭学習のすすめ ～自主的な学習への取組を目指して～」や学校の家庭学習の手引きを活用している。
5	学力向上推進委員会の「全国学力・学習状況調査」結果を分析・考察した報告書や広報「あづみの」による公表に関心がある。
6	校内の授業に学び合ったり、教材研究を協働して行ったりしている。
7	機会があれば月ごとに紹介される他校の公開授業や参加可能な研修にも参加したい。
8	学習問題・学習課題などのマグネットシートなどを使って、授業のねらい(めあて)を明確にしている。
9	授業では子どもたち同士の対話が生まれるように心がけている。
10	授業のねらいに関係した振り返り活動の指導をしている。
11	深い学びとは何かを考えて授業に取り組んでいる。
12	どうしたら子どもたちが主体的に学習に取り組むことができるか考えて授業に臨んでいる。
13	自主的な家庭学習の内容や方法について、児童・生徒のよい取組を紹介することなどを通して、指導をしている。

(2) アンケートの集計グラフ





(3) 考察

①全体グラフで、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答が80%以上の（概ね満足できる）設問

設問1：「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」のサイクルを意識して単元展開や授業の計画を立てている。

設問3：指導主事の助言や支援を、授業改善につなげようとしている。

設問6：校内の授業に学び合ったり、教材研究を協働して行ったりしている。

設問8：学習問題・学習課題などのマグネットシートなどを使って、授業のねらい（めあて）を明確にしている。

設問9：授業では子どもたち同士の対話が生まれるように心がけている。

設問12：どうしたら子どもたちが主体的に学習に取り組むことができるか考えて授業に臨んでいる。

②全体グラフで、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答が60%未満の（周知・啓発不足等が感じられる）設問

設問2：「示す」「仕組む」「振り返る」のキーワードを意識している。

設問4：「家庭学習のすすめ ～自主的な学習への取組を目指して～」や学校の家庭学習の手引きを活用している。

設問5：学力向上推進委員会の「全国学力・学習状況調査」結果を分析・考察した報告書や広報「あづみの」による公表に関心がある。

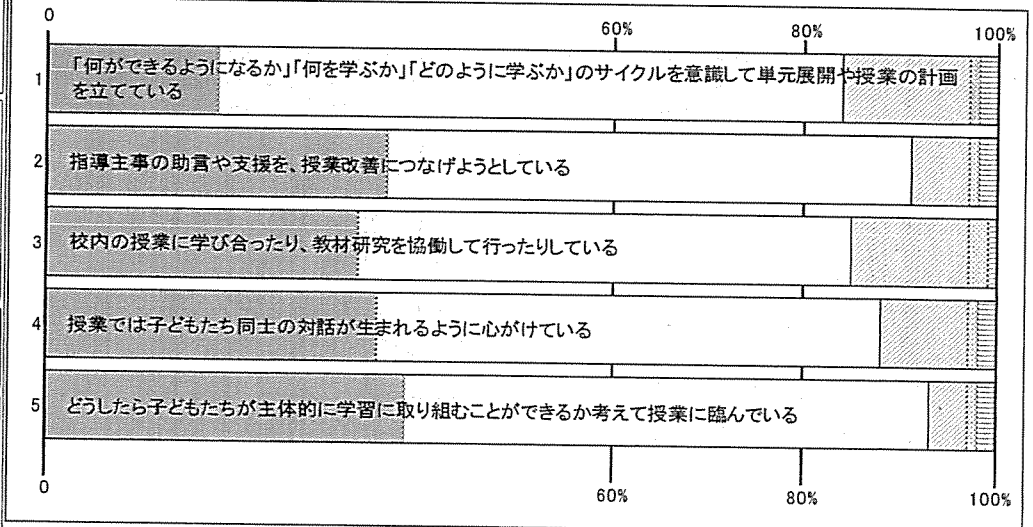
③別紙『「主体的に学び合う児童生徒の育成」を目指した授業改善は進んでいるか・・・アンケート結果から学力・体力向上4カ年計画を振り返る』を、4カ年計画の考察として次ページにまとめた。

「主体的に学び合う児童生徒の育成」を目指した 授業改善は進んでいるか… アンケート結果から学力・体力 向上4カ年計画を振り返る

(アンケート記述意見より)

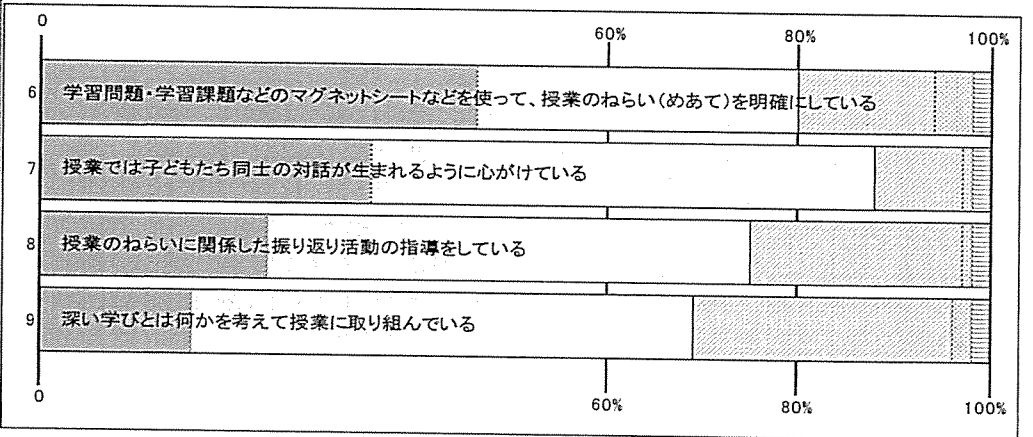
①授業改善への意識は高い・・・「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」肯定的回答が80%以上の項目

- 諸研修の成果で、学習問題(課題)の明示や振り返りなどについては意識としては刷り込まれたのではないかと思う。
- 今回の4カ年計画については、全市を挙げて取り組み、それなりの成果が上げられたと思う。共通認識の下、同一歩調で実践していくことは学力向上・体力向上においてとても大切なことであると思うのでこれからも大事に考えていきたい。
- ねらいや課題が明確になっているため生徒も今何をしたらいいかがわかりやすくなっている。
- 「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」のサイクルをより深く意識して授業を仕組むことで、低位生へのフォローも厚く授業を展開しやすくなる。



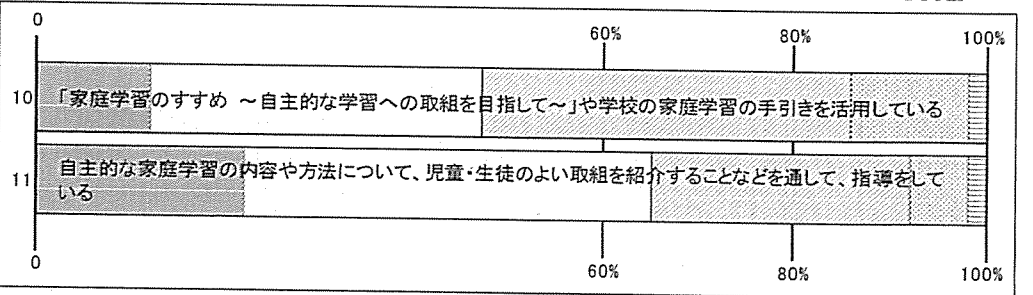
②授業改善の具体・・・「ねらい(めあて)の明確化」、「対話的な学びの取組」は、良好

- 学習問題や課題を示すことによって、授業の流れがわかるようになり、学力向上に繋がっている。
- ペアやグループで学び合える力、言葉にして明確に伝えられる力を育てることが学力向上で大切なことであるとして授業を作っていく。
- 主体的に学べるようにグループだったりペアだったり工夫して取り組んでいる。
- 教科書に沿って教えることだけで授業時間が終わってしまう。応用的な問題に取り組ませる機会が少ない。



③「意欲・粘り強さ・自主性を育てること」、「家庭学習の取組」は変わらぬ課題

- 受け身の学習姿勢からの脱却をしていきたいと考えているが、なかなか難しい。「主体的・対話的で深い学び」にして行くには課題が多い。まずは主体的・対話的な学習ができるように指導を改善したい。
- 自分の実力不足もあるのですが、子どもたちの主体性「よし！やってみよう！」という思いが低く、そういった点からも子どもへの指導を考えていきたいと思っている。
- 授業を見直し、改善することももちろん必要だが、その土台となる日常生活や家庭での学習に対する意識の共有などにも目を向けるべき。

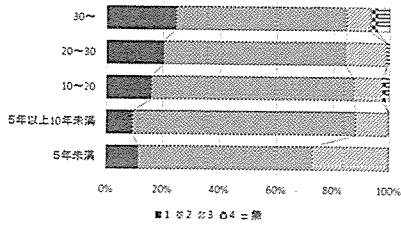


当てはまる どちらかといえば当てはまる どちらかといえば当てはまらない 当てはまらない 無回答

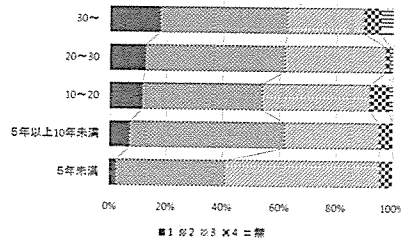
2 資料

(1) 経験年数別グラフ

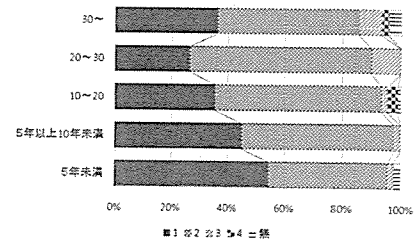
①「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」のサイクルを意識して單元展開や授業の計画を立てている。



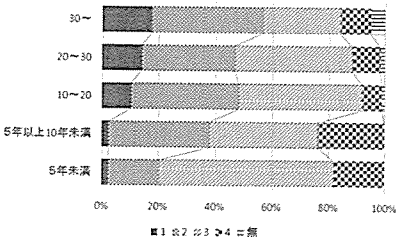
②「示す」「仕組む」「振り返る」のキーワードを意識している。



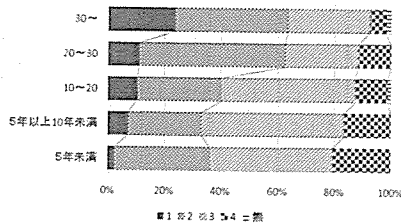
③指導主事の助言や支援を、授業改善につなげようとしている。



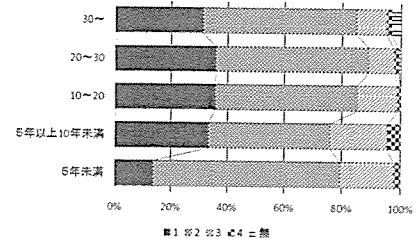
④「家庭学習のすすめ ～自主的な学習への取組を目指して～」や学校の家庭学習の手引きを活用している。



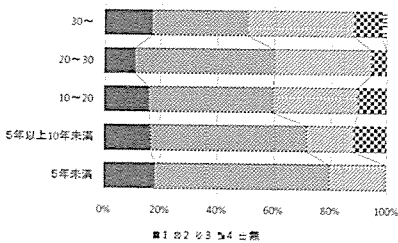
⑤学力向上推進委員会の「全国学力・学習状況調査」結果を分析・考察した報告書や広報「あづみの」による公表に関心がある。



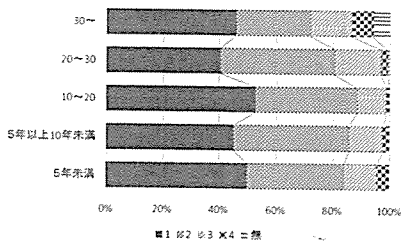
⑥校内の授業に学び合ったり、教材研究を協働で行ったりしている。



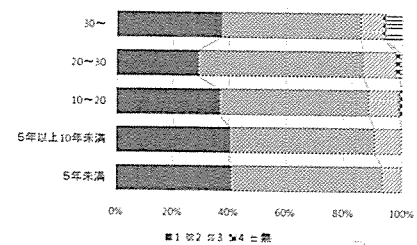
⑦機会があれば月ごとに紹介される他校の公開授業や参加可能な研修にも参加したい。



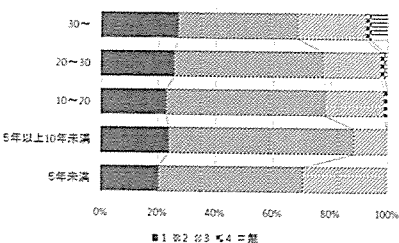
⑧学習問題・学習課題などのマグネットシートなどを使って、授業のねらい(めあて)を明確にしている。



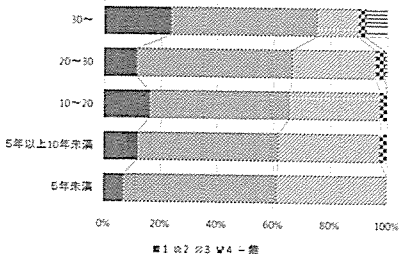
⑨授業では子どもたち同士の対話が生まれるように心がけている。



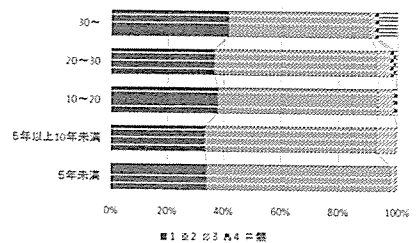
⑩授業のねらいに関係した振り返り活動の指導をしている。



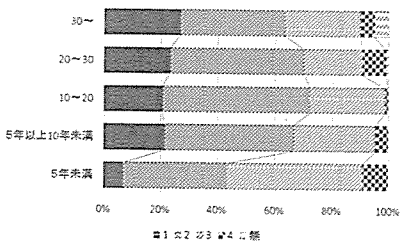
⑪深い学びとは何かを考えて授業に取り組んでいる。



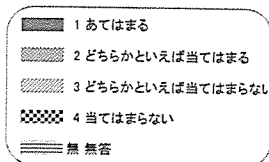
⑫どうしたら子どもたちが主体的に学習に取り組むことができるか考えて授業に臨んでいる。



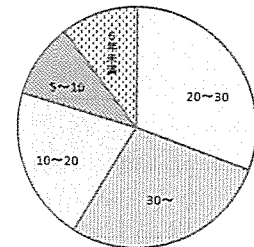
⑬自主的な家庭学習の内容や方法について、児童・生徒のよい取組を紹介することを通して、指導をしている。



経験年数	人数
20～30	128
30～	118
10～20	87
5年以上10年未満	42
5年未満	44
計	419



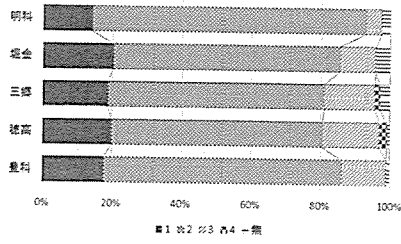
経験年数構成



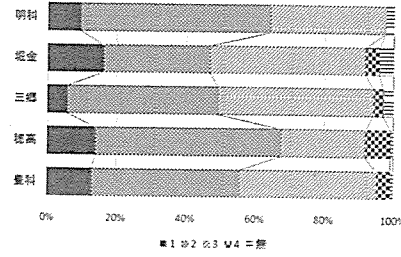
■ 20～30 ■ 30～ ■ 10～20 ■ 5年以上10年未満 ■ 5年未満

(2) 地域別グラフ

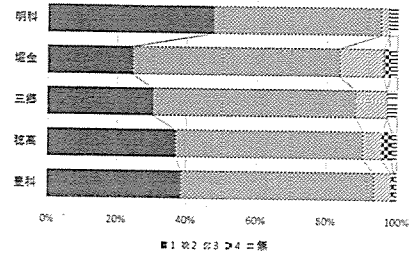
①「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」のサイクルを意識して単元展開や授業の計画を立てている。



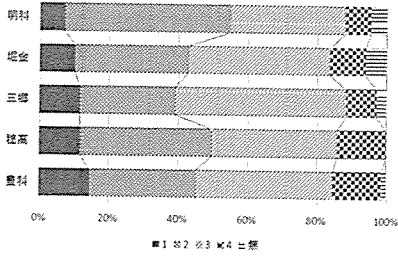
②「示す」「仕込む」「振り返る」のキーワードを意識している。



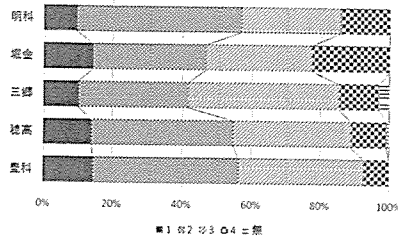
③指導主事の助言や支援を、授業改善につなげようとしている。



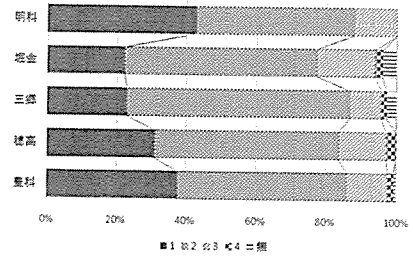
④「家庭学習のすすめ ～自主的な学習への取組を目指して～」や学校の家庭学習の手引きを活用している。



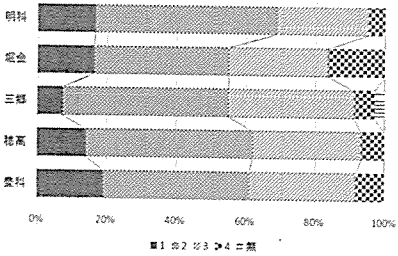
⑤学方向上推進委員会の「全国学力・学習状況調査」結果を分析・考察した報告書や広報「あづみの」による公表に関心がある。



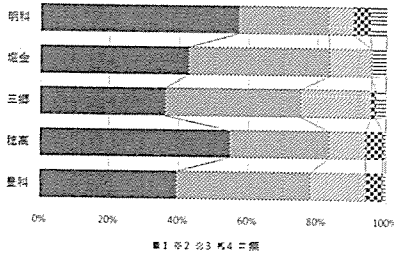
⑥校内の授業に学び合ったり、教材研究を協働して行ったりしている。



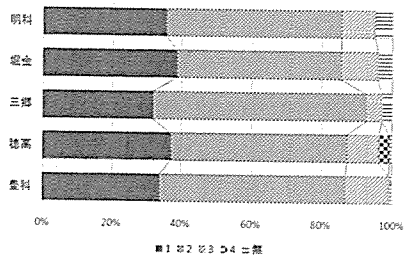
⑦機会があれば月に紹介される他校の公開授業や参加可能な研修にも参加したい。



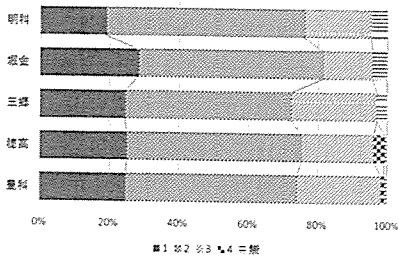
⑧学習問題・学習課題などのマグネットシートなどを使って、授業のねらい(めあて)を明確にしている。



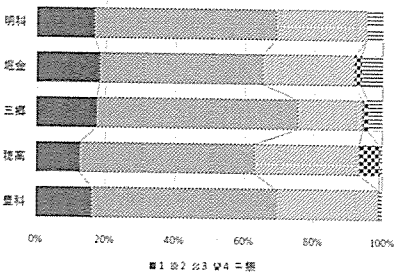
⑨授業では子どもたち同士の対話が生まれるように心がけている。



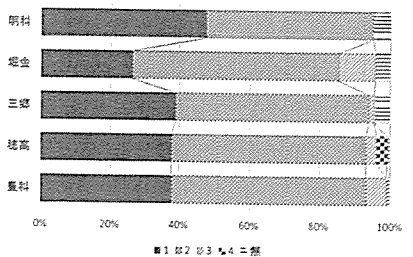
⑩授業のねらいに関係した振り返り活動の指導をしている。



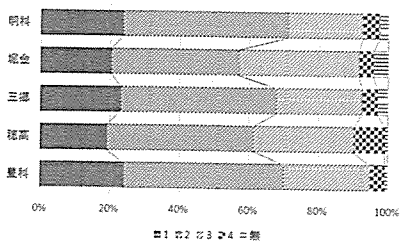
⑪深い学びとは何かを考えて授業に取り組んでいる。



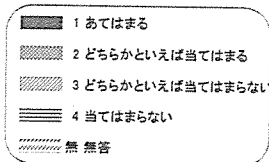
⑫どうしたら子どもたちが主体的に学習に取り組むことができるか考えて授業に臨んでいる。



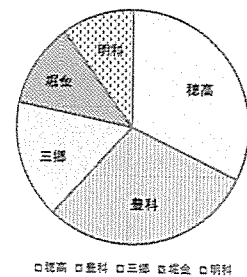
⑬自主的な家庭学習の内容や方法について、児童・生徒のよい取組を紹介することを通して、指導をしている。



地域	人数
穂高	135
豊科	124
三郷	69
坂金	49
明科	42
計	419



地域の別



(3) アンケートの全記述意見】

① 4カ年計画について

(a) 計画の成果について

- 計画を立てて進めていくことは、大変大切なことだと思います。
- 今回の4カ年計画については、全市を挙げて取り組み、それなりの成果が上げられたと思います。共通認識の下、同一歩調で実践していくことは学力向上・体力向上においてとても大切なことであると思うのでこれからも大事に考えていただけたらと思います。
- 計画的に取り組むことはよい。
- 授業を持っていないので答えられない部分が多くすみません。新学習指導要領に合っていてとても分かりやすくよいと思います。2学期のスタートに当たってもう一度全職員で共通認識したいと思います。
- 校内研修も充実してきているように思います。高い意識で取り組めていると思います。
- 授業改善に向けた「示す」「仕組む」「振り返る」は、よい方向である。これをどう具体化していくかを考えたい。「○○小」は『示す』に力を入れる」「△△中」は今年度『振り返る』について・・・」など、絞って研究し、年度末に発表（共有）できるようにしたい。具体的にすることに力を入れたい。
- 市内の研究授業の日程等を知らせていただけてありがたいです。
- 基本的な取り組みはかなり定着していると感じます。
- 取り組むべき事柄が明確にされていてよかったと思います。
- 全体の取り組みとして成果を上げてきていると思うので、長いスパンでの取り組み、評価は大切。
- 市教委で方針を立て、どの学校でも、どの先生も意識して計画実現・目標達成のため取り組んでいくことは子どものために教師による差をつけないため、大変大切なことだと思います。
- 諸研修の成果で、学習問題(課題)の明示や振り返りなどについては意識としては刷り込まれたのではないかと思う。
- ねらいや課題が明確になっているため生徒も今何をしたらいいかがわかりやすくなっていると思います。

(b) 計画の不認知、計画の周知について

- 特に関心がない。知らなかった。
- 県外より転勤したばかりなのでよくわかりません。申し訳ありません。
- 「4カ年計画」の中身をよく理解していない。
- 申し訳ない。寡聞にして知らず。
- 知りませんでした。

- 今年来たのですが、初耳です・・・・・・・・
- 恥ずかしながら、4カ年計画自体をよく知りませんでした。
- 今年来た職員にとっては、知る機会がなく、年度当初にこれまで3年間の取り組みの様子を知る機会が欲しかった。学校として市として意識の統一とその年度の具体的な方向を確認し合いたい。
- 取り組みの紹介をするなどもっとアピールして取り組んだらどうでしょうか
- 評価する年に転勤できたのであまりよくわからなかった。
- 現場への周知やその成果について、総括をお願いしたい。
- 周知徹底のためにHPへ具体的政策の掲載を考えた方がよいかと思います。
- 4カ年計画を知らない人もいると思うので、もう少し教員内に周知した方がよい。よい授業を見合うことができる環境づくりをしてほしい。
- 計画を知りません。認知が低くてすみません。どう決まりだれが決められたのかも知りませんでした。「4カ年計画について」や「学力向上について」も話し合いの場に一緒に立たせてほしいです。
- 申し訳ないですが、4カ年計画の重点や流れ、意識すべきポイントについてしつかりと把握していません。学校でもしつかり周知できるようにするとより成果が上がると思います。

(c) 日々の授業工夫・改善について

- 「ねらい」「みとどけ」「ふりかえり」を意識してやっていきたいとします。
- 学習問題や課題を明確に示して授業を行えている。
- 向上するように、考えていくこと、先輩たちの考えたこととの積み重ねを大事にしながら、時代に合わせて児童たちのためになる工夫をしていくことは必要。
- 特別支援学級担任として、できる範囲で取り組んでいる。しかし、一人一人の学習内容が異なる上、話す、聞く、何よりも書くことに困難さのある子どもたちなので、自主学習や話し合い、対話まで支援することに難しさを感じています。
- 学びの共同体など、自分の知らないシステムの中、何を大切にして授業に取り組みばよいのかよく分からない状況です。学校ごとに取り組む方が違う中でいろいろと困る場面があります。たとえば、教育課程の研究授業など長野県のやり方なのか、学校でだいじにしている物なのか、あるいは両方なのかよく分からない状況です。

(d) 学級経営・学校経営の重要さ

- 今年、安曇野市に戻ってきました。何年目でしょうか？まずは落ち着いたクラス、人間関係を作ることが大切だと思っています。形から入るといってもあります。が保護者・子どもたちとの良い人間関係が学力の第一歩だと思っています。やるべきことができないと学力向上にはすごく大変だと痛感しています。
- 教材研究ができる時間を確保していただかないと充実した授業の展開は望めない

いと思う。そのような時間の確保、ゆとりある職場にしないと難しいのではないかなと思います。

○行事等に追われて、計画を意識して取り組めていなかった。

(e) 機器の導入希望

○ICTの積極利用について（特に小学校）入れ込み、各学校にタブレット、電子黒板の配備があるとより計画が進むと思われる。

(f) 計画についての疑問・要望

○安曇野市として「学力の何を」「体力の何を」の具体的なことが、このアンケートからではわかりません。（新学習指導要領に準ずるのが4カ年計画か。）大学入試改革、高校改革も踏まえ小中でつける力をはっきりさせてほしい。

○計画ありきで、目の前の子どもが見えていないのではないかと思う。

○取り組みとしては、成果が上がっていることもあると思いますが、何が必要かと言うことももう少し絞ってもよいかと思います。

○周知実践、定着・進化、評価・考察と4年間かけて取り組むことはよいと思います。ただ、この4年間で多くの先生方が異動等で替わっているので、各校で核になる先生や市教委とのつながりを考えて方向性、実践、検証に取り組みたい。

○学校の現場としては、この4カ年計画に対して必要感がない。市教委はまず学校の職員が必要感を持つような計画を立てなければよい方向には変わらない。なぜなら“やらされている”にすぎないのだから。

(g) その他

○体力テストの負担が大きい。

② 学力向上について

(a) 4カ年計画の意義について

○学力向上のみとどけ(評価)を具体的にしたい。

○質の高い授業を目指して安曇野市で協力して進めていくことが大切だと思う。

○長期的に行わないと成果は見えてこないと思うので、長い目で見て行っていく必要があると考えられる。

○市としての課題や重点を受けて、学校ごとに取組がなされているかということで、?な部分が多いです。結果もそれぞれに違うことから難しさを感じます。

○世の中の求める変化の波に、学校が取り残されないよう、大胆な改革の一步をリードしていく必要があると感じます。従来の踏襲ではない施策を市で力を合わせて生み出していけたらと思います。不易は不易として大切にしつつ。

○みなでやると決めたことは市全体でやっていくべきだと思う。

○「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」のサイクルをよ

り深く意識して授業を仕組むことで、低位生へのフォローも厚く授業を展開しやすくなると思った。

- 市内で統一して取り組めることは、足並みがそろいとてもいいことだと思う。比較競争などにはしてほしくない。
- 「学びの共同体」のように「このようにしなければいけない」「こうあるべきだ」というやり方でよいのかどうか疑問に思います。形ありきで子どもの実態は考えていないので難しいです。

(b) 各校の研究の方向について

- 学年会で指導内容や指導方法について意見交換し、共有して授業に向かう姿勢がある。
- 本校では、ドリルの時間に学び合い+文章問題に慣れるドリルに取り組んでいる。今後の様子を見ながら、学力向上につながるか考察したい。
- 職員間で意識のずれがあるので、研修を増やして欲しい。
- 教師一人一人の教材研究、授業展開の構想、生徒一人一人の達成感や毎日の積み重ね学習がないと学力はなかなか向上していかないとと思う。
- 各校の取り組みは校長先生のお考えが大きくはたらき、研究主任が推進しているというように感じていますが、「強力の推進」がなされない場合どう進めていったらよいか分からない。安曇野市全体として具体的に取り組む内容を共通と決めていただくと各校でも進めやすいと思います。
- 学習問題（課題）を書いて、ねらいを明確にしたり、子どもの意識の流れやまとめを書いたりなどの板書について、教師による差が見られる。
- 今回の内容について「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」という言葉(キーワード)や「示す」「仕組む」というキーワードと「主体的に学習に取り組む授業づくり」ということについて、捉え方によっては、矛盾を感じます。新しい学習指導要領、学力観での「主体的学び」に向け、まったく今までの授業形態を捨て、新たな授業観を持たないと成立しえないものだと思いますので、思い切った新たな提案がなされることに期待しています。
- 基礎学力の定着(学ぶことをあきらめない)と伸びる力を更に伸ばす工夫が必要(放課後学習会の充実、算数・数学科の少人数学習)

(c) 学力観について

- 学力を向上させることはとても重要なことですが、点数ばかり目がいかないようにしなくてはならないと思います。
- 学調の結果も重要であるが、その他学力で考える取組みが必要である。
- 学力について第三者に本校の学力向上についての具体的な評価をいただいてもよいか(大学と連携するなどして)。目に見える学力(記録、結果、姿勢)と、目に見えない学力(忍耐、向上心、意欲、気概など)の双方についても考えたい。

氷山の一角が目に見える学力だと思います。学力調査を6年生で実施しているが、幼保小学年より学力予想が立つので縦断的な学力向上に向けての取組をしたい。

- 学力向上の気持ちもあります。考えも分かりますが、全員が同じだけ（満点を）求めることは、無理があると思います。個々の目標をしっかりとらせて、進歩があったら認められるようにと心がけている。
- 学力向上というが、各教科の楽しさ魅力をより多く伝えることができているか非常に疑問に思っている。
- 目先の平均値にとらわれず、10年後、20年後の人としての生きる力を見通して、今を考えることが大切だと思う。
- 運動・体力向上も大きく関わっていると思うので体育の授業を充実させていきたい。
- 学力向上とは何か、何のための学力向上か、目的を間違えないようにしたい。
- あまり「学力」だけを強調しなくていい。
- 児童の実態と、学校の周囲から求められている力とがかけ離れていて、授業以前の問題でつまづいてしまうクラス・児童・保護者が多い。学力向上の底上げをもっと広い視野で捉えていく必要があると思う。
- 学力とは何か、友と話し合っただけで答えにたどり着くことが本当に主体的で深い学びなのか。課題が解決できれば学力は本当に向上するのか。全国学調の点数を気にしながら4カ年計画のような授業をしろというのはダブルスタンダードで現場を混乱させてはいまいか。

(d) 日々の授業の工夫について

- どの授業でもキーワードを意識して授業を行うことが大切だと感じています。
- 授業以外の時間での指導を行うのはなかなか難しいので、普段の一時間一時間を大切にしていきたい。
- 一人一人の学びやすさを意識して取り組みたい。
- ペアやグループで学び合える力、言葉にして明確に伝えられる力を育てることが学力向上で大切なことであるとして授業を作っていきたい。
- 主眼を大切にしたいと考えている。
- 子どもたちが主体的に関わる授業を構築する。
- 児童の考えに沿った単元計画を作り、学習できるようにする。
- 主体的に学べるようにグループだったりペアだったり工夫して取り組んでいる。
- 小さな頃からたくさんの選ばれたよい言葉に触れるよう学習が大切だと思う。具体的には長い期間にわたる読み聞かせや読書。
- 学び合う、自ら問題をつくり自ら取り組むことでより向上していくと思われる。
- 学力上位の子どもたちへの支援も必要。
- 全力で取り組んでいます。

○教師の仕事は「躰」と「授業」と言われていますが、学力向上は、真に大きな課題です。絶えず肝に銘じるように心がけています。

○授業改善が優先

○「学習問題」という用語を生徒に示していくことについては疑問があります。教師の中で使う用語を生徒に押し付けるのは（意味が分かっていない教員もいるのに）いかがなものでしょうか。「めあて」「解くためには」など分かりやすい言葉に置き換えて生徒に示していくところが第一歩かと思います。

○学習問題や課題を示すことによって、授業の流れがわかるようになり、学力向上に繋がっていると思う。

○朝、体を動かす（ダンスなどが効果的）ことで、脳の活性化を促したい。

(e) 日々の授業の悩みについて

○教科書に沿って教えることだけで授業時数が終わってしまう。応用的な問題に取り組みせる機会が少ない。

○特別支援学級の児童にとっての学力とは？常に悩み続けています。数値で振り返ることのできない部分で育てたいところをどう評価したらいいか、永遠の課題です。

○受け身の学習姿勢からの脱却をしていきたいと考えているが、なかなか難しい。「主体的・対話的で深い学び」にして行くには課題が多い。まずは主体的・対話的な学習ができるように指導を改善したい。

○自分の実力不足もあるのですが、子どもたちの主体性「よし！やってみよう！」という思いが低く、そういった点からも子どもへの指導を考えていきたいと思っています。

(f) 家庭学習について

○授業で自分自身が工夫することだけではなく、家庭学習も授業の振り返りができるものを意識して出していきたいと思います。

○家庭学習の充実＝家庭学習の勧めの具体化→工夫されたノートの公開・展示

○授業を見通し、改善することももちろん必要だが、その土台となる日常の生活家庭との学習に対する意識の共有などにも目を向けるべき。

○成果が徐々に出てきている。家庭学習が課題。

○生徒の主体的・対話的で深い学びのある授業を行うと演習が、授業中になかなかできないため、学力向上にはもっと家庭学習の充実が必要だと感じています。

(g) 機器・設備の充実について

○市からぜひPC、タブレットを各校に備えて欲しい。県下でも当たり前前に整備されている学校が増えています。

○視覚教材（TV、プロジェクター）が充実するとさらによい

- 生徒の学習環境の充実が学力に繋がると思う。→タブレットの導入、エアコンの導入。
- 授業改善に努めることとともに、視聴覚機器やPC関係などの教室環境を整えてほしい。(パソコンがつかないブラウン管のテレビでは困ります。

(h) 保護者とのかわりについて

- 教師側(学校)では意識し取り組んでいるが、保護者との連携が大切だと思う。
- 学校と保護者の協力が一番大切だと思います。お互いに任せ合うのではなく、お互いに教え、定着を図り合う、子どもたちの実態から目をそらさずに向き合うことも大切にしていきたいです。

(i) 校内・他校・他県に学ぶ

- どんなに頑張っていると言っても、どこが不十分なのかはわからない。他のところとの比較も見直していくうえで、大切。他県の取組からも向上させたい。
- 校内研修など、とてもためになっていると感じる。
- 授業がなかなかうまくいかず発問が特に難しいと感じています。いろいろな先生方の授業を見る機会がほしいです。要望のようですみません。
- 学力上位の都道府県へ市独自で研修へ行くなどを行ってほしい。(各校1人教員ずつ行かせる。) すごさを実感することで、より効果がアップすると思う。
- 秋田県などの学力の高い県の様子を実際に視察したり、沖縄県のように秋田県の先生方に見に来ていただき指導していただいたりなどして、今までのやり方でない方向を強く探ってゆくことをしないと何も変わらないような気がします。
- 各校での取り組みやマグネットシートの形態など参考にさせていただけるような紹介があるとありがたいです。
- 各校で学校の実態に合った取り組みをどんどん進めていき、それを17校で共有していきたい。
- 自分の考えを持って、4人グループで深め合う学び合いの授業を広げたい。それにより主体的・対話的で深い学びを実現したい。
- 振り返り活動の充実に向けて、各校各教科の実践の様子を知りたい
- 教科によって学力の定義が異なりますので、保健体育による学力向上について学ばせていただきたいので、どこかよい研修などありましたら教えてください。自主的な家庭学習についての問いなどの返答が難しいです。

(j) 時間の確保や働き方の改革にかかわって

- 学力向上に向け教材研究や準備をしたいが、いろいろな書類を提出するためや調査などの仕事が多く、時間がとられている。
- 教材研究の時間がとりにくい。(土・日・残業に行うしかない) 学力向上のための教師の時間がほしい。

- 教師は学びのプロでありたいと思っています。なので子どもたちの学力向上は常に頭に置いて、わかる授業を作ろうとしています。しかしながら研究に参加したり、十分な教材研究をしたりすることが難しいのが現状です。やりたいけれどできない…このギャップは苦しいです。
- 学力向上だけでなく、他のあらゆる指導のためには教員の時間的・精神的余裕が必要であるが、教育本質から外れたと思えるような仕事が多く、そのために休む時間も教員のキャパシティを奪っている面があると強く感じます。
- 学力調査の結果報告書づくりに気をつかい負担がある。
- じっくりと教材研究をしたり、自身の授業について振り返ったりする時間を取りたいです。
- 工夫してがんばっていききたい気持ちはいっぱいあります。実際に仕組むためのもの・ことの工夫（実際に何かを作る、試して改善する、作り直す）の時間が余りとれていないことが悩みです。
- 授業の質を上げるには、もう少し教職員の働き方を変えないと難しいと思います。
- 教師の教材研究の時間の増大が必要→事務仕事の軽減、アンケートの精選、集計や事務作業員の導入、→部活指導員よりも必要だと思う。
- 出張で自習したり、研修で時数を減らしたりすることは学力向上につながってはいかないと感じます。出張や研修を減らし授業を行えるようにすることが学力向上につながっていくのではないかと感じています。
- 根本的には人（指導者）の補充が必要だと思います。

おわりに

平成27年にスタートした安曇野市学力・体力向上4カ年計画は、4年が経過し、一つの区切りを迎えました。この計画の中核にある「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の一連のサイクルは、学習者にとって一生涯のどの年代、どの場面でも主体的に学習を続ける上で大切な基本的な姿勢だろうと思います。また、同時にそれは自分の学びを客観的に振り返る視点でもあります。生涯学び続け、自分の可能性を拓き高めながら、学ぶことに喜びを見いだしていく、学習を支援者が学習者に身に付けてほしいことの一つは、まさにそんな姿勢であり、「学び続けたいという意欲」そのものだと思うのです。学習者と指導者が3つのサイクルを共に意識した授業の日常化を目指すことは、そのような意味合いがあります。児童生徒がより主体的に学び合う授業への改善を視点として常に持ちつつ、精進していきたいものです。

市内各校の先生方には、お忙しいところ、示唆に富んだ率直かつ貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。この「まとめ」の中から、日々の授業改善への意欲や手掛かりを見つけていただけたとしたら、この上ない喜びです。

(平成30年度 安曇野市学力向上推進委員一同)

安曇野市学力・体力向上4力年計画のまとめ

関係学力向上推進委員氏名（在籍校…当時） ○委員長

- | | | |
|---|--|---|
| 平成26年度
（国語）
（算数・数学） | ○飯沼 哲夫（穂高西中学校）
柳川 哲郎（豊科北小学校）
深沢 有基（穂高北小学校） | 六井 直樹（豊科南中学校）
高橋 信（明科中学校） |
| 平成27年度
（国語）
（算数・数学）
（理科） | ○平沢 重人（明科中学校）
中川 裕美（明南小学校）
長田 明（穂高西小学校）
菅原 崇（堀金小学校） | 上田 美英子（三郷中学校）
高橋 信（明科中学校）
石井 良治（穂高西中学校） |
| 平成28年度
（国語）
（算数・数学）
（指導主事） | ○平沢 重人（穂高東中学校）
熊井 高志（三郷小学校）
長田 明（穂高西小学校）
一色 保典（安曇野市） | 上田 美英子（三郷中学校）
下田 洋平（明科中学校） |
| 平成29年度
（国語）
（算数・数学）
（指導主事） | ○丸山 広樹（豊科南小学校）
熊井 高志（三郷小学校）
深沢 有基（堀金小学校）
一色 保典（安曇野市） | 鬼塚 千春（穂高東中学校）
下田 洋平（明科中学校） |
| 平成30年度
（国語）
（算数・数学）
（理科）
（指導主事） | ○曾根原 弘（三郷小学校）
久保田 敬（穂高北小学校）
深沢 有基（堀金小学校）
輪湖 義治（豊科南小学校）
一色 保典（安曇野市） | 鬼塚 千春（穂高東中学校）
堀内 翼（三郷中学校）
宮下 卓也（豊科北中学校） |

協力 安曇野市校長会

平成30年12月26日

安曇野市教育委員会学校教育課教育指導室

報告第 7 号	教育部 生涯学習課
平成 30 年 12 月 26 日提出	(課長) 臼井 隆昭 (担当係長) 塩原 良明

タイトル	穂高プールの運営方針及び安曇野市体育施設条例の一部改正について
報告を要する事項の内容	穂高プールの運営方針及び安曇野市体育施設条例の一部改正について
要旨	<p>穂高プールについては、平成 31 年度（2019 年度）以降も指定管理者と契約を締結し、3 シーズン継続するが、営業終了後の平成 33 年（2021 年）9 月 30 日をもって廃止する。修繕については必要最低限とする。</p> <p>平成 33 年（2021 年）9 月 30 日をもって穂高プールの公の施設としての機能を廃止するため、平成 30 年 12 月議会に安曇野市体育施設条例の一部を改正する条例案を上程し、可決された。</p>
説明	<p>市民説明会における市民の意見・要望等や営業期間中の利用者アンケート結果、また、継続を求める陳情に対する議会での採択等を踏まえ、平成 33 年（2021 年）9 月 30 日まで運営を継続する。</p> <p>継続にあたっては、指定管理者を指定し、管理運営を委託するが、耐用年数を迎え、施設の老朽化等を考慮する中、平成 33 年（2021 年）9 月 30 日をもって穂高プールの公の施設としての機能を廃止するため、安曇野市体育施設条例の一部を改正する条例案（別紙 1, 2）を平成 30 年 12 月議会に上程し可決された。</p> <p>今後の運営にあたっては、修繕費を最小限に抑えるため、ウォータースライダーの運営は行わず、機器については、故障している起流ポンプとそのピット内にある排水ポンプの修繕（約 110 万円）のみとし、今後は安全面を考慮した修繕だけを行う。また、利用料金については、現行のまま据え置く。</p> <p>なお、指定管理期間終了後（平成 33 年（2021 年）9 月 30 日）をもって穂高プールを廃止するが、今後、機器の故障等が発生し多額の修繕費用が必要となる場合、または安全性が確保されない場合は、指定管理者と協議の上、運営を停止する場合もある。</p> <p>今後、小さなお子さんが水に安全安心に親しむことのできる市内の施設の周知を図っていく。</p> <p>○今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年（2019 年）3 月定例会 議案提出（指定管理者指定） <li style="padding-left: 100px;">” 議案提出（債務負担行為） ・平成 31 年（2019 年）3 月定例会終了後 指定管理者契約 <p style="text-align: center;">平成 31 年（2019 年）4 月 1 日～平成 33 年（2021 年）9 月 30 日</p>

議案第153号

安曇野市体育施設条例の一部を改正する条例

安曇野市体育施設条例（平成18年安曇野市条例第26号）の一部を次のように改正する。

第3条第1項の表中

「

安曇野市穂高プール
安曇野市権現宮マレットゴルフ場

」を

「

安曇野市権現宮マレットゴルフ場

」に改める。

第5条第1項中「（安曇野市穂高プールにあっては、開場時間。以下同じ。）」を削る。

別表第1中

「

安曇野市穂高プール	安曇野市穂高5747番地
安曇野市権現宮マレットゴルフ場	安曇野市穂高8425番地1

」を

「

安曇野市権現宮マレットゴルフ場	安曇野市穂高8425番地1
-----------------	---------------

」に改める。

別表第2の6 安曇野市穂高プールの表を次のように改める。

6 その他の体育施設

施設名	利用料金	休場日	
豊科水辺マレットノース18	無料	教育委員会が特に必要と認める日	
豊科水辺公園マレットゴルフ場			
権現宮マレットゴルフ場		教育委員会等が特に必要と認める日	
立足マレットゴルフ場			
高瀬川河川内緑地マレットゴルフ場			12月から3月中旬まで冬期閉鎖の間
黒沢マレットゴルフ場			

別表第2の7 その他の体育施設の表を削る。

附 則

この条例は、平成33年10月1日から施行する。

平成30年12月21日 提出

安曇野市長 宮澤 宗弘

○安曇野市体育施設条例（平成18年安曇野市条例第26号）

改正後	改正前
<p>(指定管理者による管理)</p> <p>第3条 体育施設のうち、次に掲げる体育施設（以下「指定体育施設」という。）の管理は、地方自治法第244条の2第3項の規定により、安曇野市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせることができるものとする。</p>	<p>(指定管理者による管理)</p> <p>第3条 体育施設のうち、次に掲げる体育施設（以下「指定体育施設」という。）の管理は、地方自治法第244条の2第3項の規定により、安曇野市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせることができるものとする。</p>
<p>名称</p> <p>安曇野市権現宮マレットゴルフ場</p> <p>(略)</p>	<p>名称</p> <p><u>安曇野市穂高プール</u></p> <p>安曇野市権現宮マレットゴルフ場</p> <p>(略)</p>
<p>2 (略)</p> <p>(使用時間及び開館時間)</p>	<p>2 (略)</p> <p>(使用時間及び開館時間)</p>
<p>第5条 体育施設の使用時間は、別表第2のとおりとする。</p> <p>2～4 (略)</p>	<p>第5条 体育施設の使用時間（<u>安曇野市穂高プール</u>）<u>にあつては、開場時間。以下同じ。</u>）は、別表第2のとおりとする。</p> <p>2～4 (略)</p>

改正後

別表第1 (第2条関係)

名称	位置
(略)	
安曇野市権現宮マレットゴルフ場	安曇野市穂高8425番地1
(略)	

別表第2 (第5条、第6条、第9条、第12条関係)

1～5 (略)

6 その他の体育施設

施設名	利用料金	休場日
豊科水辺マレットノース18	無料	教育委員会等が特に必要と認める日 教育委員会等が特に必要と認める日 12月から3月中旬まで冬期閉鎖の間
豊科水辺公園マレットゴルフ場		
権現宮マレットゴルフ場		
立足マレットゴルフ場		
高瀬川河川内緑地マレットゴルフ場		
黒沢マレットゴルフ場		

改正前

別表第1 (第2条関係)

名称	位置
(略)	
安曇野市穂高プール	安曇野市穂高5747番地
安曇野市権現宮マレットゴルフ場	安曇野市穂高8425番地1
(略)	

別表第2 (第5条、第6条、第9条、第12条関係)

1～5 (略)

6 安曇野市穂高プール

区分	使用単位	利用料金(円)	開場時間	期間	休場日
中学生以下 16歳(高校生)以上 ロッカー	1回1人	300	午前9時から30分	7月上旬	教育委員会等が特に必要と認める日
	につき				
	1回1人	500	午後6時から	9月上旬	
	につき				
	1回につき	100			

改正後

改正前

備考

- 1 1回の単位は、1回の入場をいい、最高1日とする。
- 2 1歳未満児、75歳以上の者及び付添い（遊泳しない）者は、無料とする。

7 その他の体育施設

施設名	利用料金	休場日
豊科水辺マレットノース18	無料	教育委員会が特に必要と認める日 教育委員会等が特に必要と認める日 12月から3月中旬まで 冬期閉鎖の間
豊科水辺公園マレットゴルフ場		
権現宮マレットゴルフ場		
立足マレットゴルフ場		
高瀬川河川内緑地マレットゴルフ場		
黒沢マレットゴルフ場		

平成 30 年 12 月 26 日開催

安曇野市教育委員会 12 月定例会当日配布資料

【教育委員会定例会提出資料】

報告第 8 号	教育部
平成 30 年 12 月 26 日提出	

タイトル	安曇野市議会 平成 30 年 12 月定例会の結果について
要旨	安曇野市議会 12 月定例会の結果について報告するもの
1 会期等	11 月 28 日（水）～12 月 21 日（金）
2 代表質問	12 月 10 日（月）
議員名	教育委員会関係質問概要
清政会 召田 義人議員	>スポーツ振興で心豊かなまちづくり（スポーツ施設の整備と今後の取り組みについて） ・スポーツ大使について ・牧グラウンドの活用について ・市営野球場の建設について >高校再編、松本糸魚川高規格道路、信州緑化フェアについて ・市内専門高校の単独での存続について
政和会 平林 徳子 議員	>活力あるまちづくり ～観光振興について ・訪日教育旅行の取り組みについて
日本共産党安曇野市議団 猪狩 久美子議員	>人口減少と市の「総合戦略」、「人口ビジョンについて」 ・「人口減少だから」ということを強調し進めている、認定こども園の民営化や市営プールの廃止はやめるべきではないか。
公明党市議団 小松 芳樹議員	>少子高齢社会と人口減少社会を乗り越えていくための施策について ・若者の U ターン推進施策（郷土愛の醸成） >青少年の活躍で活気あふれるまちづくりについて ・スポーツ大使の任命と活動推進 ・スポーツ大会誘致としての体育館の考え方 ・牧グラウンドの有効活用

3 一般質問 12月11日(火)、12日(水)、13日(木) 3日間

議員名	教育委員会関係質問概要
山田 幸与議員	>学校給食会計の公会計化について ・給食会計公会計化についての市長の見解 ・保護者が負担している食材費の状況 ・食材の購入方法・市の財務規則との関係 ・単価・価格交渉などはどう進めているのか ・学校の事務負担の状況 ・公会計化することについての課題や問題点 >移住定住の促進における課題について ・生涯学習推進の立場での関わり方
中村 今朝子議員	>災害に強いまちづくり 「子ども防災手帳」について
一志 信一郎議員	>希少種オオルリシジミを市の天然記念物に指定してはどうか ・希少種オオルリシジミを市の天然記念物に指定してはどうか ・副読本やビデオを作り子ども・市民への周知と記録等の保存について >発展するための地域づくりの市独自の補助金制度等の創設等並びに各部の予算の執行について ・文化財の樹木根等による損壊からの保護と解説板または標柱の設置並びに案内板の設置等について
藤原 陽子議員	>ブロック塀の耐震化について ・通学路沿いに設置されたブロック塀のその後について >通学時の負担軽減のために ・子どもの通学時の荷物が重すぎることにについて（「置き勉」についての見解及び対策）
増田 望三郎議員	>学校における日本語教育支援について ・日本語教育支援が必要な外国由来の子どもたちをどのように把握しているか。 ・本市における日本語教育支援の取り組みの現状と位置づけ ・支援員との連携を深め、事業化（体制づくり、予算化）に向けて歩みを進める時ではないか。
小林 陽子議員	>教職員住宅の利用について ・教職員住宅の利用の現状はどうか。施設によって、入居率が低い実態を把握しているか。 ・公共施設再配置計画 10年計画案の一覧に取り上げられていない施設（教職員住宅）について、実態把握や対策・対応は充分できているのか。 ・空き家、空室を減らすことは、財政面や施設有効活用の観点からも当然求められるが、空き家、空室を減らす対策、活用法についてはどう考えているか。
井出 勝正議員	>「道徳」教材は日常生活の中に、教科書や評価の問題 ・中学校の「道徳」の教科書選定の経過と結果はどのようなものか。 ・「道徳」の教科書選定の経過は。

	<ul style="list-style-type: none"> ・松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会の教科用図書道徳調査研究委員会の調査研究の結果は。 ・第2回松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会の検討結果は。 ・教科用図書道徳調査研究委員会と教科用図書採択研究協議会との結論が異なった理由は何か。 ・「道徳」の教科化と評価に、問題はないのか。 ・「道徳」の教材は、子どもたちの日々の生活にあり、それらを取り上げ、生かすべきではないか。 <p>➤幼児教育・保育、就学援助の充実と、生活困窮者の生活を守る課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護基準の引下げが就学援助費に影響しないようにし、拡充すべきではないか。
白井 泰彦議員	<p>➤食育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再配置計画 10 年間（2018～2027 年）では、給食センターは計画に入っていないが、廃止の話が出ている。どのような考えか。 ・認定こども園、幼稚園、小・中学校の給食費の無償化について
小林 純子議員	<p>➤安曇野市におけるゼロ予算事業の展開と課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者との協働事業として取り組むゼロ予算事業について「ユニバーサル・ラン（スポーツ義足体験事業）」
内川 集雄議員	<p>➤童謡祭りでつなぐ友好都市のさらなる深化を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次安曇野市文化振興計画では、どのように友好都市交流を計画しているのか。 ・童謡を通しての友好都市間の交流事業がどのように行われているのか <p>➤「安曇野市解放会館」の廃止について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安曇野市立上川手認定こども園」の大規模改修（平成31年・32年）が計画されている。改修に合わせ「豊科解放館」を1年前倒しで廃止、取り壊し、併せて、旧豊科町就労センター施設も同時に廃止、取り壊しを要望するが市の考えは。
林 孝彦議員	<p>➤外国からの児童・生徒への日本語教育と学習支援の強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国からの児童・生徒への日本語教育と学習支援の強化を要望するが、目標と取り組みは。 ・日本語教育研修を積んだ専門教員や学校ボランティアによる支援の充実や、NPO法人等への事業委託等を希望するが、現状と実現に向けた取り組みは。 ・地域の日本語教室等への支援の充実を要望するが、現状と実現に向けた取り組みは。 <p>➤碌山美術館開館 60 周年にあたり、安曇野出身の日本のロダン・荻原碌山の顕彰の促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標と取り組みはどうか。 ・碌山美術館との連携や支援により、訪れる人が増えることを願い、安曇野の誇り・荻原碌山と碌山美術館の啓蒙・発信を要望するが、現状と実現に向けた取り組みはどうか。

4 市議会福祉教育委員会 12月17日(月)・12月19日(水)・12月21日(金)

以下の議案(関連議案含む)は、原案どおり可決されました。

なお、12月21日(金)の本会議において、原案どおり可決されています。

(1) 議案

- ① 議案第112号 平成30年度安曇野市一般会計補正予算(第4号)
- ② 議案第143号 公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市豊科近代美術館)
- ③ 議案第144号 公の施設の指定管理者の指定について(田淵行男記念館)
- ④ 議案第145号 公の施設の指定管理者の指定について(飯沼飛行士記念館)
- ⑤ 議案第146号 公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市穂高陶芸会館)
- ⑥ 議案第147号 公の施設の指定管理者の指定について(安曇野高橋節郎記念美術館)
- ⑦ 議案第153号 安曇野市体育施設条例の一部を改正する条例
- ⑧ 議案第154号 平成30年度安曇野市一般会計補正予算(第5号)

(2) 陳情

以下の陳情の審査結果は、次のとおりです。

なお、12月21日(金)の本会議において、可決されています。

- ① 【審査未了】長野県池田工業高校への支援に関する陳情
※1回目審査6月定例会 2回目審査9月定例会
- ② 【採択】安曇野市唯一の市営穂高プールの継続を希望する陳情
※1回目審査9月定例会

(3) 12月17日、学校給食センターの運営の見直しについて、これまでの堀金小中学校PTA常任委員等への説明会に用いた資料に基づき、福祉教育委員会において説明を行いました。

(4) 12月19日、安曇野市体育施設条例の一部を改正する条例(穂高プール廃止)を議会最終日(12月21日)に提案することについて、福祉教育委員会において説明を行いました。

5 その他

平成30年12月14日付で「穂高プールを守る会」の百瀬信子様より、教育長・教育委員・教育部長・生涯学習課長あてに、「安曇野市唯一の市営穂高プールの継続を希望する要望」が書面で提出されました。(要望内容別紙)



要望書

平成30年12月14日

教育長 橋渡勝也 様
安曇野市教育委員 御中
教育部長 西村康正 様
生涯学習課長 臼井隆昭 様

穂高プールを守る会
百瀬 信子

安曇野市唯一の市営穂高プールの継続を希望する要望

要望の趣旨

署名総数 11,549筆(7月11日～12月13日)

この数字は「穂高プールの継続を希望する」人々が願いをこめて書いた署名数です。積極的に署名に参加して下さる方が多く、署名を集める活動をする活動が進むにつれ、私たちはこの数字をより重く感じるようになりました。一万を超える人々の思いを、市の皆様にお伝えする義務があると私たちは感じています。人々の強い思いが市政に関わるの皆様に伝わり、何らかの良い方向へと進むことを願っています。良い方向へ進むためにも、私たちが努力し、市政に関わる皆様と署名に参加し協力して下さる人々との対話する努力は惜しみません。

7月より陳情書提出に向けたこの署名活動が始まりました。9月の議会に市営穂高プールの継続を希望する陳情書を提出し、その後、福祉教育委員会での継続審議、数回の福祉教育委員会での協議会を経て、12月の議会での審議を待つところです。これらの議会の動きの間も、陳情に協力し、署名を書い下さった市民の方々からは「陳情書はどうなったのか」という質問をいただく事が多く、11月27日には「穂高プールを守る会」の活動報告会を開催しました。報告会に参加していただいた皆様のご意見等を聞く機会を得て、この要望内容の関心の高さを署名の数以上に肌で感じました。

市政の皆様の協力もあり、今回の取り組みを通して、多様な世代の市民が公共施設の老朽化対策や在り方を考えるきっかけになりました。今後も「みんなで話し合っって納得のいくものになった」と言えるような施設の在り方を、市政に関わる皆様と、市民が協力して考えていきたいです。

以上により、次の内容を強く要望いたします。

安曇野市唯一の市営穂高プールの営業を続けることを希望します。そして市民との対話を通じて、子どもからお年寄りまで多くの人にとって最善のプールのあり方を決定していただくよう要望します。

平成 30 年 12 月 26 日開催

安曇野市教育委員会 12 月定例会当日配布資料

報告第 10 号

教育部 生涯学習課

平成 30 年 12 月 26 日提出

(課長) 白井 隆昭 (担当係長) 山口 尊礼

タイトル	平成 31 年安曇野市成人式について
報告を要する事項の内容	成人式の内容等について
要旨	<p>1 期 日 平成 31 年 1 月 13 日 (日)</p> <p>2 場 所 安曇野スイス村サンモリッツ</p> <p>3 主 催 安曇野市、安曇野市教育委員会 安曇野市成人式実行委員会</p> <p>4 対象者 1,091 人 (男 532 人、女 559 人) (昨年対象者 男 521 人、女 526 人、計 1,041 人)</p> <p>5 テーマ 「平成最後の成人式 選ばれたのは我々でした。」</p> <p>6 日 程 受 付 12:00～13:45 写真撮影 12:40～13:55 記念式典 14:30～15:10</p> <ul style="list-style-type: none">・三郷中学校合唱部による祝賀演唱・開式のことば・主催者あいさつ・来賓祝辞・祝電披露・記念品贈呈・新成人あいさつ・閉式のことば <p>交 流 会 15:20～16:00 成人式実行委員会企画</p> <ul style="list-style-type: none">・懐かしのフォトムービー・成人の主張 平成最後に言いたいこと、あの時の 自分に言いたいことなどのメッセ ージを記入。 各学校 1 名を選び発表してもらおう。 <p>日程終了 16:00</p>
説明	<p>昨年との変更点</p> <ol style="list-style-type: none">1 式典開始時間の変更 14:00 → 14:302 三郷中学校合唱部による祝賀演唱3 「懐かしの給食」について、全員に対応できるよう紙袋で個々に手渡しとする。(牛乳、黒糖コッペパン、どうぶつチーズ、アーモンドフィッシュ、紙おしぼり)

平成 31 年安曇野市成人式テーマ

平成最後の成人式 選ばれたのは我々でした。

平成最後という区切りの年に成人となった我々。そのことを受け止め、どんな時代を創るかは我々しだい。

人生一度の晴れ舞台の日に、この安曇野で師や友とのつながりを再確認し、今、新たな一歩を踏み出す。

平成 31 年 1 月 13 日
安曇野市成人式実行委員会

実行委員会企画 アトラクション “成人の主張”

平成 31 年安曇野市成人式実行委員会

役職	氏名	出身中学校
実行委員	曾根原 祐太	豊科南
実行委員	横川 美桜	豊科南
実行委員	岡村 慧胤	豊科北
実行委員	日岐 亮太郎	穂高東
実行委員	南澤 憲史	穂高東
実行委員	柳澤 涼美	穂高東
実行委員	山田 晴海	穂高東
実行委員	越原 菜々	穂高西
実行委員	玉田 容子	穂高西
実行委員	小穴 純豊	三 郷
実行委員	小林 梨津子	三 郷
実行委員	草間 陸	三 郷
実行委員	斎藤 柚	堀 金
実行委員	中澤 雅	明 科
実行委員	山崎 優真	明 科
実行委員	横内 日菜子	明 科
サポートスタッフ	岩淵 みな子	
サポートスタッフ	丸山 史織	
サポートスタッフ	矢島 拓弥	

平成31年成人式

平成最後の成人式

選ばれたのは我々でした。

安曇野市

平成31年1月13日(日)

安曇野スイス村サンモリッツ

次 第

- 式 典 (14:30~15:10)
三郷中学校合唱部による祝賀演唱
開式のことば
主催者あいさつ
来賓祝辞
来賓紹介
祝電披露
記念品贈呈
新成人あいさつ
閉式のことば
- 交 流 会 (15:20~16:00)
成人式実行委員企画
- 全日程終了 (16:00)

安 曇 野 市 歌

安曇野市歌 水と緑と光の郷

作詞 保岡直樹
作曲 飯沼信義

- 一
雪を頂く 北アルプスに
今日もいきいき 陽が躍る
豊かな流れは 大地を拓き
息づくいのち 明日を呼ぶ
恵みの郷よ 安曇野は
水と緑が 光るまち
- 二
祭囃子に みなぎる力
はるか歴史を 曳く我ら
いにしえ人の 想いをいまに
伝え佇む 道祖神
ほほえみの郷よ 安曇野は
ほっと心が 和むまち
- 三
ケヤキの先の 流れる雲を
仰ぐ瞳に やどる夢
語らい交わす 熱き眼差し
この地を創る たくましさ
希望の郷よ 安曇野は
ともに未来へ 翔けるまち

平成 31 年安曇野市成人式来賓一覧

(敬称略)

職名	氏名
衆議院議員	下条 みつ
衆議院議員	務台 俊介
県議会議員	望月 雄内
県議会議員	寺沢 功希
市議会議長	小松 洋一郎
市議会副議長	内川 集雄
市議会議員	小林 陽子
市議会議員	白井 泰彦
市議会議員	遠藤 武文
市議会議員	林 孝彦
市議会議員	坂内 不二男
市議会議員	井出 勝正
市議会議員	山田 幸与
市議会議員	一志 信一郎
市議会議員	松枝 功
市議会議員	増田 望三郎
市議会議員	中村 今朝子
市議会議員	竹内 秀太郎
市議会議員	平林 明
市議会議員	藤原 陽子
市議会議員	猪狩 久美子
市議会議員	小松 芳樹
市議会議員	召田 義人
市議会議員	宮下 明博
市議会議員	平林 徳子
市議会議員	小林 純子
選挙管理委員長	竹内 勲
教育長職務代理	唐木 博夫
教育委員	須澤 真広
教育委員	横内 理恵子
教育委員	二村 美智子
公民館長会長	山田 賢一
商工会長	高橋 秀生
民生児童委員協議会会長	松嶋 隆徳

職名	氏名
恩 師 (豊科南)	川根 一仁
恩 師 (豊科南)	松田 涼子
恩 師 (豊科南)	垣内 孝康
恩 師 (豊科南)	三村 徹
恩 師 (豊科北)	冨永 浩一
恩 師 (豊科北)	山下 貴丈
恩 師 (豊科北)	和田 舞
恩 師 (豊科北)	日岐 秀明
恩 師 (豊科北)	井上 嗣敏
恩 師 (穂高東)	山本 幸治
恩 師 (穂高東)	小林 かおる
恩 師 (穂高東)	永田 治
恩 師 (穂高東)	稲葉 敦
恩 師 (穂高東)	小林 淳基
恩 師 (穂高東)	大鷹 宏彰
恩 師 (穂高西)	土屋 貴文
恩 師 (穂高西)	小林 由起子
恩 師 (穂高西)	薄田 啓太郎
恩 師 (穂高西)	渡辺 一博
恩 師 (三郷)	白井 宏之
恩 師 (三郷)	秋山 可織
恩 師 (三郷)	水野 佳代子
恩 師 (三郷)	小田 佑弥
恩 師 (三郷)	望月 薫夫
恩 師 (三郷)	笠原 あゆ美
恩 師 (堀金)	高橋 信
恩 師 (堀金)	三澤 雅志
恩 師 (堀金)	成田 剛真
恩 師 (明科)	鎌倉 清子
恩 師 (明科)	牛山 雄斗
恩 師 (明科)	中村 充

主催者

市 長	宮澤 宗弘
副市長	中山 栄樹
教育長	橋渡 勝也